SONY

4-672-272-**01** (1)

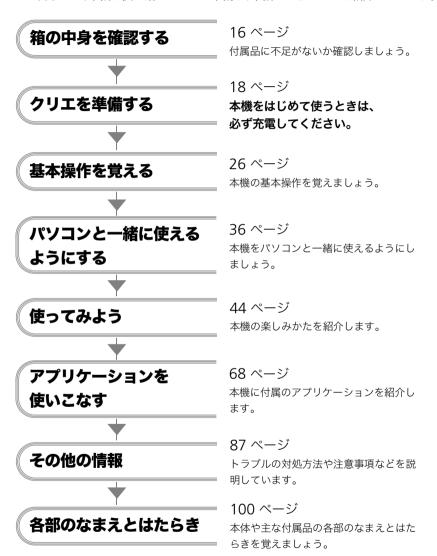
はじめにお読みください

取扱説明書

パーソナルエンタテインメントオーガナイザー

PEG-TG50

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

はじめに

この冊子では、本機を使い始めるまでの準備や、本機でできることを紹介しています。

本機には以下のマニュアルが付属しています。
下記をご覧の上、それぞれ知りたい内容にあわせてご活用ください。

❑ 最初に知っておいていただきたいことを説明しています（本冊子）

はじめにお読みください（取扱説明書）

次の内容を説明しています。

- クリエ本体とパソコンの準備
- 本機の基本的な操作
- 付属アプリケーションでできること

❑ クリエの基本操作を詳しく知りたいときは
❑ クリエの設定を変更したいときは

クリエ読本

はじめてのクリエ
基本的な使いかたを詳しく説明しています。
クリエ活用編
クリエの便利な機能や使いこなしかたを詳しく説明しています。

❑ 付属アプリケーションの使いかたを詳しく知りたいときは
❑ 使いたいアプリケーションのインストール方法を知りたいときは

クリエ アプリケーションマニュアル（HTML 形式：パソコン上で動作）

知りたい内容を、アプリケーション名と目的の両方から探すことができます。
このマニュアルはパソコンと連携して使うための準備を行うと、パソコンに自動的にインストールされます。
このマニュアルの使いかたは、本冊子の「クリエ アプリケーションマニュアルを開く」（69 ページ）をご覧ください。

❑ 困ったときの対処法は

困ったときは Q&A

本機を使っていて困ったときの対処の方法を説明しています。

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

7 ～ 13 ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにネットコミュニケーションカスタマーリンク（クリエ専用サポートセンター）に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- **煙が出たら**
- **異常な音、においがしたら**
- **内部に水、異物が入ったら**
- **製品を落としたり、キャビネットを破損したとき**

➡

1. **電源を切る**
2. **ACアダプターや接続ケーブルを抜く**
3. **ネットコミュニケーションカスタマーリンク（クリエ専用サポートセンター）に修理を依頼する**

データはバックアップをとる

メモリ内の記録内容は、パソコンとHotSyncをして、常にバックアップをとって保存してください＊。トラブルが生じて、記録内容の修復が不可能になった場合、当社は一切その責任を負いません。

充電せずに長期間放置した場合、お買い上げ後に本機に記録したデータの一部が消去されることがあります。

＊ 一部バックアップできない記録内容があります。詳しくは87ページの「HotSyncによるバックアップ」をご覧ください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

風呂・シャワー室での使用禁止

接触禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- Sony、SONY、クリエ、CLIÉ、"Memory Stick"（"メモリースティック"）、MEMORY STICK™、"Memory Stick Duo"（"メモリースティック　デュオ"）、MEMORY STICK DUO、"Memory Stick PRO"（"メモリースティック PRO"）、MEMORY STICK PRO、"MagicGate"（"マジックゲート"）、MAGICGATE、"MagicGate Memory Stick"（"マジックゲートメモリースティック"）、、PictureGear Studio はソニー株式会社の商標です。
- Palm OS、Graffiti、HotSync、HotSyncのロゴはPalm, Inc. またはその子会社の米国及びその他の国における登録商標であり、Palm、Palm Powered、Palm Desktop、Palm のロゴ、Palm Powered のロゴ、PalmOS5 のロゴは Palm, Inc. またはその子会社の商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Pentium は Intel Corporation の商標または登録商標です。
- ATOK「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- 本機で使用している一部のフォントの著作権は、株式会社タイプバンクに帰属します。
- Adobe® および Acrobat® は Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。
- Bluetooth は、その権利者が所有している商標であり、ソニーはライセンスに基づき使用しています。
- Intellisync は米国 Pumatech, Inc. の米国、およびその他の国における商標もしくは登録商標です。
- QuickTime,QuickTime のロゴは Apple Computer, Inc. の商標です。
- The software library incorporated in CLIE handheld is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- Flash および Macromedia Flash は、Macromedia, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- NetFront は、株式会社 ACCESS の日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Picsel および Picsel ロゴは Picsel 社の商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標または商標です。なお、本文中では TM、® マークは明記していません。

本製品のソフトウェアをお使いになる前に、必ず付属のソフトウェア使用許諾書をお読みください。
付属の「ATOK」をお使いになる前に、必ず別冊「クリエ読本」巻末に記載されている「ATOK 使用許諾契約書」をお読みください。

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
また本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。
認証機器名は次のとおりです。
認証機器名:PEG-TG50
ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機を分解／改造すること
- 本機の裏面にある証明番号を消すこと

周波数について

本機は 2.4 GHz 帯の 2.400 GHz から 2.4835 GHz まで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の Bluetooth 機能使用上の注意

本機の使用周波数は 2.4 GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ネットコミュニケーション カスタマーリンクまでお問い合わせください。

2.4FH2

この無線機器は 2.4 GHz 帯を使用します。変調方式として FH-SS 変調方式を採用し、与干渉距離は 20 m です。

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**などにより**死亡や大けが**の原因となります。

付属の AC アダプターおよびソニー製の本機に対応した電源以外は使用しない

火災や感電の原因となります。

禁止

運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながら表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分にご注意ください。

下記の注意事項を守らないと**健康を害する**おそれがあります。

ディスプレイを長時間継続して見ない

禁止

ディスプレイなどの画面を長時間継続して見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイを見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

長時間使いすぎない

禁止

- 長時間継続して使用すると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
  使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。
- ヘッドホンを使用中、肌にあわないと感じたときは早めに使用を中止して医師に相談してください。

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

本機の Bluetooth 機能は国内専用です。

海外では国によって電波使用制限があるため、本機のBluetooth機能を使用した場合、罰せられることがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所に設置すると、故障の原因となることがあります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、故障の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると故障の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ネットコミュニケーションカスタマーリンク（クリエ専用サポートセンター）にご相談ください。そのままパソコンに接続すると、パソコンの故障の原因にもなることがあります。

分解しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースやフロントカバーをむやみに開けたり改造したりすると、故障の原因となることがあります。内部の点検、修理はネットコミュニケーションカスタマーリンク（クリエ専用サポートセンター）にご依頼ください。

ぬれた手で AC アダプターをさわらない

ぬれた手でACアダプターを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

接続の際は電源を切る

接続コードなどを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切り、AC アダプターコードをコンセントから抜いてください。故障の原因となることがあります。

指定された接続コードを使う

取扱説明書に記されている接続コードを使わないと、故障の原因となることがあります。

AC アダプターコードや接続ケーブルを AC アダプターに巻き付けない

断線や故障の原因となることがあります。

通電中の本体や AC アダプターに長時間触れない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

本体や AC アダプターを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置かないでください。また、横にしたり、ひっくり返して置いたりしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

禁止

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

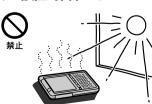
本機の上に重いものを載せない

壊れたり、けがの原因となることがあります。

お手入れの際は、電源を切って AC アダプターを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、故障の原因となることがあります。

コネクタはきちんと接続する

- コネクタに金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。

長時間使用しないときは AC アダプターを抜く

長時間使用しないときは、安全のためACアダプターをコンセントから抜いてください。

車内など直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、故障の原因となることがあります。

液晶画面に衝撃を与えない

画面(表示部)はガラスでできています。本体をひねる、落とす、本体に肘をつく、重いものを載せるなどすると、割れてけがの原因となることがあります。

硬い物質で液晶画面を操作したり、強打しない

液晶画面が割れて、故障やけがの原因となることがあります。

本体に強い衝撃を与えない

故障の原因となることがあります。

クレジットカードや定期券などの磁気製品を近づけない

本体背面に、内蔵スピーカー用の磁石が入っています。この付近にクレジットカードや定期券を近づけると、カードなどの記録に影響を与えるおそれがあります。

雷が鳴り出したら、接続コードや AC アダプターに触れない

感電の原因になります。

AC アダプターを水のある場所に置かない

水が入ったり、ぬれたり、風呂場で使うと、火災や感電の原因となります。

航空機内で通信機能は使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

医療機器の近くで通信機能は使わない

電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**物品**に**損害**を与えたりすることがあります。

通信機能を使用している場合、心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離すこと

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くでは通信機能は使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

自動車内では通信機能の使用に注意する

まれに車種により車両電子機器に影響を与える場合があります。自動車内でご使用になる場合はご注意ください。

Bluetooth 機能の使用を中止するには

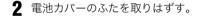
本機の電源を切ってください。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

- 指定された充電方法以外で充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解しない。電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- 本体に衝撃を与えない。
  落とすなどして強いショックを与えたり、重いものを載せたり、（特に鋭利なもので）圧力をかけないでください。故障の原因となります。
- 本体から漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師に相談してください。

充電池のリサイクルについて

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。
不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、社団法人電池工業会ホームページ（http://www.baj.or.jp/）を参照してください。

本体を破棄する場合は、下記の手順に従って充電池をリサイクルしてください。
電池の交換はネットコミュニケーションカスタマーリンクへお申し出ください。
電池交換の場合は、電池を取りはずしておく必要はありません。

充電池の取りはずしかた

1 プラス（＋）ドライバーで、本機の側面にあるネジをはずす。

2 電池カバーのふたを取りはずす。

3 充電池から出ているコードの先にあるジャックを本機から抜き取る。

4 充電池に付いているリボンを引っぱりながら、充電池を取り出す。

目次

取扱説明書についてのご注意

- 付属のソフトウェアは、この冊子の画面と一部異なる場合があります。
- この冊子は、お客様が Windows の基本操作に習熟していることを前提にしています。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

液晶ディスプレイについて

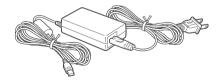
液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素等があります。また、見る角度によってすじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。
これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。
交換、返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。

記録内容の補償はできません

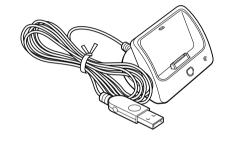
本機を使用中、不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたが本機で記録したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、記録を制限している場合がありますのでご注意ください。

箱の中身を確認する

まずはじめに、箱の中身を確認しましょう。

●本体（1 台）

ハードカバーの取りはずしかたは
110 ページをご覧ください。

●クレードル（1 台）

●AC アダプター
（1 式：AC コード含む）

●スタイラス（1 本）

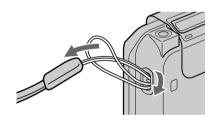
お買い上げ時は本体に取り付けてあります。

●プラグアダプター（1 個）

●プラグアダプターアタッチメント
（1 個）

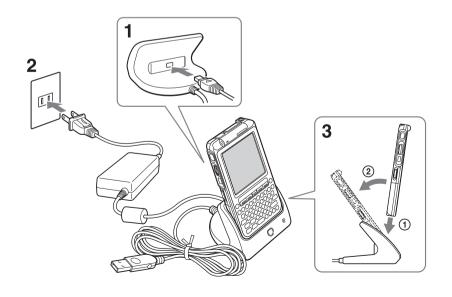
●インストール CD-ROM(1 枚)

●ハンドストラップ(1 個)

取り付けかたは下記をご覧ください。

●はじめにお読みください ー 取扱説明書(1 冊、この冊子)
●クリエ読本(1 冊)
●困ったときは Q&A(1 冊)
●カスタマー登録のご案内(1 枚)
●カスタマー登録はがき(保証書)
●Graffiti カード(1 枚)
●ソフトウェア使用許諾書(1 枚)
●クリエ サービス・サポートのご案内(1 枚)
●クリエカルテ(1 部)
●その他印刷物一式

万が一、不足しているものがありましたら、ネットコミュニケーションカスタマーリンク(クリエ専用サポートセンター)またはお買い上げ店にご相談ください。

落下防止のため、ハンドストラップを使用しましょう。

ハンドストラップの取り付けかた

クリエを準備する

クリエを使用する前に、次の準備を行います。

❶ **クリエを充電する**

❷ **電源を入れて初期設定を行う**

❶ クリエを充電する

本機をはじめて使うときは、必ず充電してください。

1 **AC アダプターをクレードルの AC アダプター接続コネクタにつなぐ。**

2 **AC アダプターのプラグをコンセントに差し込む。**

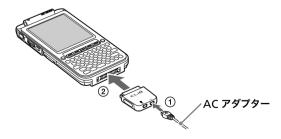
3 **本機を斜めに入れて倒すようにして、クレードルに取り付ける。**

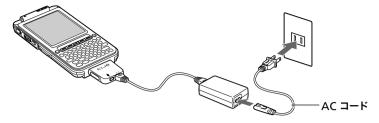
本機をクレードルに取り付けると、本体の CHG LED とクレードルランプが点灯して、充電が始まります。
また、ホーム画面のバッテリ残量表示が に変わります。

初回の充電は約 5 時間で終了します。
充電が終わると、本体の CHG LED が消灯しますが、クレードルランプは点灯したままです。本機をクレードルから取りはずすと、ホーム画面のバッテリ残量表示が に変わります。

ヒント

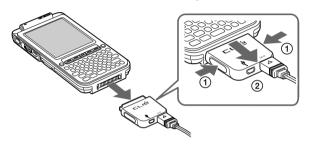
毎日こまめに充電すれば、充電は短時間で終了します。

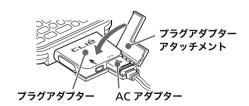
ご注意

- 充電をしないで放置し、バッテリの残量がなくなると、お買い上げ後に本機に記録したデータは消去されます。
- 本機を充電中に、パソコンなどの外部機器のライン入力と本機のヘッドホンジャックを接続しないでください。故障の原因になります。

クレードルを使わずに充電するには

プラグアダプターを使用すると、クレードルを使わずに本機を充電することができます。

プラグアダプターを取り付ける

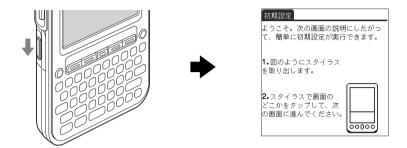
はじめに AC アダプターをプラグアダプターの DC IN コネクタにつなぎ（①）、次にプラグアダプターを本機のインターフェースコネクタへつないでください（②）。

次のページにつづく

次に AC コードを AC アダプターにつなぎ、AC コードのプラグをコンセントにつないでください。

プラグアダプターの取りはずしかた

プラグアダプターの両わきを押し込み(①)ながら取りはずします(②)。

付属のアタッチメントの使いかた

プラグアダプターアタッチメントの取り付けかた

付属のプラグアダプターアタッチメントは図のように取り付けてお使いください。

❷ 電源を入れて初期設定を行う

クリエの電源を入れて、操作をする前に必要な初期設定を行います。
初期設定を行いながら、クリエの操作に慣れていきましょう。

1 POWER/HOLD スイッチを POWER 方向にスライドさせる。

電源が入り、「初期設定」画面が表示されます。

POWER/HOLD スイッチをスライドさせる

ヒント

電源が入らない場合は

- 18 ページの手順に従ってクリエを充電しましたか？

➡**詳しくは、**別冊「困ったときは Q&A」をご覧ください。

- 充電しても電源が入らないときは、ソフトリセット（33 ページ）を行ってください。

2 スタイラスを取り出す。

文字を入力したり、実行したいアプリケーションを指定したりするために、付属の**スタイラス**を使います。

スタイラスを取り出す

次のページにつづく

ご注意

- 付属のスタイラス以外のものを使うと、クリエの画面を傷つけてしまうことがあります。
- スタイラスを取り付けるときは、カチッというまでしっかり差し込んでください。

3 スタイラスで画面を軽く押す。

この操作を**タップする**と言います。
タップした場所のずれを補正するための、「初期設定」画面が表示されます。

4 画面の指示に従って、表示されたマークの中心をタップする。

引き続いて、画面の右下と画面の中央の調整も行います。

ご注意

正確に調整しないと、うまく操作できない原因となります。あとから調整をやり直したいときは、別冊「クリエ読本」の「クリエの設定を変更する(環境設定):入力位置を調整する(デジタイザ調整)」をご覧ください。

調整が終わると、日時の設定画面が表示されます。

5 ［現在の時刻］の枠で囲まれている部分をタップする。

「時刻の設定」画面が表示されます。

ヒント

あとで再び日付や時刻を変更したい場合は「環境設定」から設定します。

➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「日付／時刻を合わせる」をご覧ください。

6 ▲ または ▼ をタップして、現在の時刻に合わせる。

それぞれの枠をタップして、時間と分表示を合わせます。

7 ［OK］をタップする。

時計が正しく設定され、日時の設定画面に戻ります。

8 ［今日の日付］の枠で囲まれている部分をタップする。

「日付の設定」画面が表示されます。

次のページにつづく

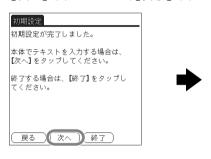
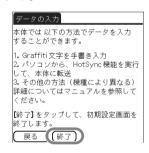
9 一番上の西暦の横の◀または▶をタップして、西暦を合わせる。

10 現在の月をタップしてから、現在の日付をタップする。

日付が正しく設定され、日時の設定画面に戻ります。

11 [タイム ゾーン]の枠で囲まれている部分をタップする。

「タイム ゾーンの設定」画面が表示されます。

12 地域名をタップしてタイム ゾーンを選び、[OK]をタップする。

13 [夏時間]の横の▼をタップして、[オン]または[オフ]を選ぶ。

14 [次へ]をタップする。

15 [次へ]をタップして、[終了]をタップする。

初期設定が終了し、ホーム画面が表示されます。

これで初期設定が終わりました。

基本操作を覚える

アプリケーションを起動する

本機で何か操作をするためには、「アプリケーション」を起動する必要があります。
アプリケーションを起動する基本操作を覚えましょう。

❶ ホーム画面を表示する

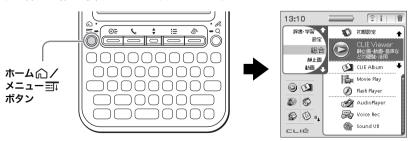
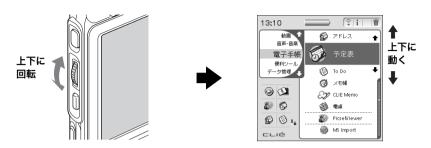
❷ アプリケーションを選ぶ

❸ アプリケーションを終了する

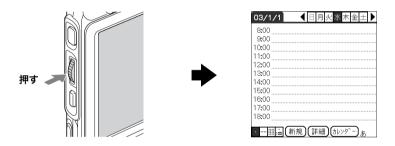
以下に、ホーム画面「CLIE Launcher（クリエ ランチャー）」からジョグダイヤルを使ったアプリケーションの起動のしかたを説明します。

ジョグダイヤルを使う

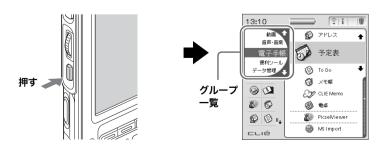
❶ホーム画面を表示する

1 ホーム／メニューボタンを押す。

ホーム画面が表示されます。

ヒント

長く押すと（約 1 秒）、メニューが表示されます。

❷アプリケーションを選ぶ

1 ジョグダイヤルを回して、起動したいアプリケーションのアイコンを選ぶ。

2 ジョグダイヤルを押す。

選んだアプリケーションが起動します。

ヒント

グループごとに選びたいときは

ホーム画面でBACKボタンを押すと、グループ一覧が反転します。
ジョグダイヤルを回してグループを選んでから、アプリケーションを選ぶことができます。

次のページにつづく

❸アプリケーションを終了する

クリエではパソコンでの操作と異なり、データの保存を行う必要はありません。
作業中のアプリケーションでの編集内容は自動的に保存され、そのアプリケーションを再度起動すると、終了時と同じ内容が表示されます。
アプリケーションを作業中に別のアプリケーションに切り替えるには、ホーム画面を表示します。ホーム画面を表示するには、以下の 2 つの方法があります。お好みの方法をお使いください。

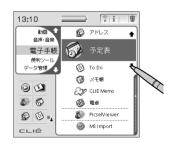
- **ホーム ／メニュー ボタンを押して、ホーム画面に戻る**
- **BACK ボタンを長く押して、ホーム画面に戻る**

ヒント

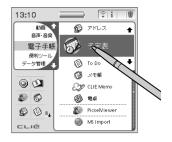
アプリケーションボタンを押して別のアプリケーションに切り替えることもできます。

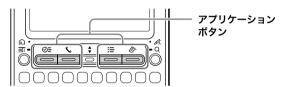
ご注意

一部のアプリケーションでは、「保存」の操作があります。

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

その他の起動方法について

本機では、付属のスタイラスやアプリケーションボタンを使ってアプリケーションを起動することもできます。

スタイラスを使う

付属のスタイラスで画面を直接触れて起動します。

1 ホーム画面の ⬆⬇ をタップして、起動したいアプリケーションを表示させる。

2 アプリケーションのアイコンをタップする。

選んだアプリケーションが起動します。

アプリケーションボタンを押す

アプリケーションボタンを押してアプリケーションを起動することもできます。
お買い上げ時の状態では、ボタンのアイコンに合わせて、「予定表」、「アドレス」、「To Do」、「メモ帳」が起動します。

ヒント

- 本機の電源が入っていなくても、アプリケーションボタンを押すと本機の電源が入り、アプリケーションが起動します。
- アプリケーションボタンに好みのアプリケーションを割り当てることもできます。

➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「クリエの設定を変更する（環境設定）：アプリケーションボタンの割り当てを変更する」をご覧ください。

文字を入力する

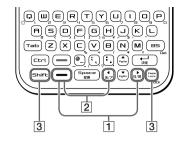
ここでは、ハードウェアキーボードを使った文字の入力方法を説明します。
本機のハードウェアキーボードは、パソコンのキーボードと同様の操作で入力できます。

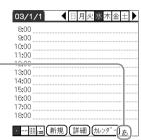
ハードウェアキーボードを使って入力する

1 文字を入力したいアプリケーションを起動する。

ここでは、「予定表」を例にして説明します。

2 文字を入力したい行をタップする。

3 文字の入力方法を選択する。

1 **日本語入力モード／英字入力モード**

(赤)キーを押しながら日/英キーを押して切り換えます。

日本語入力モードは、ローマ字入力方式のみです。

2 **ひらがな入力／カタカナ入力**

(赤)キーを押しながらあ/アキーを押して切り換えます。

3 **英字の大文字を入力する**

はじめに、1 に従って英字入力モードに切り換えます。

Caps Lockキーを押してからキーを押す(入力モード表示が⇧)か、Shiftキーを押しながらキーを押します(入力モード表示が⬆)。

入力モード表示

あ：ひらがな入力

ア：カタカナ入力

a：英字入力

⇧：英字入力(大文字)

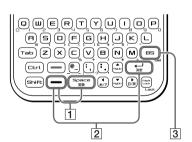
⬆：英字入力(大文字)

4 文字を入力する。

1 **文字を変換する**

(赤)キーを押しながらSpace 変換キーを押します。

2 **文字を決定する**

該当する候補が表示されたら、(赤)キーを押しながら決定キーを押します。

また、文字の変換が必要ないときも(赤)キーを押しながら決定キーを押します。

3 **直前の文字を消去する**

BSキーを押します。

各キーの入力コマンドについては、「各部のなまえとはたらき：ハードウェアキーボード」(106 ページ)をご覧ください。

その他の入力方法について

本機ではハードウェアキーボード以外にも、以下の方法で文字を入力できます。お好みに合わせて、ご自分にあった方法をお選びください。

日本語の入力や漢字変換について詳しくは、別冊「クリエ読本」の「クリエで文字を入力する」をご覧ください。

● スクリーンキーボード

画面上に表示されたキーボードをタップして、文字を入力します。

➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「クリエで文字を入力する：文字入力を練習する（スクリーンキーボードで入力する）」をご覧ください。

● Graffiti（グラフィティ）

Graffiti という手書き入力専用の文字を使って、文字を入力します。Graffiti の入力に慣れると、スクリーンキーボードを使うよりも速く入力できるようになります。

➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「クリエで文字を入力する：手書き入力で文字を入力する（Graffiti）」をご覧ください。

● パソコンからの HotSync

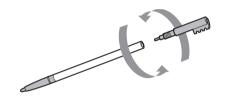
大量の文字を入力したり、パソコンのキーボードを使って入力したいときは CLIE Palm Desktop ソフトウェアを使って、HotSync することで文字データをクリエに転送できます。詳しくは、CLIE Palm Desktop ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

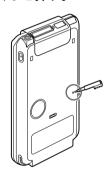
ヒント

日本語変換システム「ATOK」を使うこともできます

本機には Palm OS 標準の日本語入力システムの他に、変換効率の高い日本語変換システムとして定評のある ATOK が付属しています。

➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「クリエで文字を入力する：ATOK を使用する」をご覧ください。

本機を再起動する

通常、本機を再起動（リセット）する必要はありませんが、**電源が入らなくなったり、操作に反応しなくなった場合は、**ソフトリセットを実行して本機を再起動させることで症状を解消できる場合があります。
このような場合は、以下の手順で本機をリセットしてください。

再起動する（ソフトリセット）

ソフトリセットを実行しても、本機に記録したデータや追加インストールしたアプリケーションはそのまま残ります。

1 スタイラスの上部をねじるように回して、スタイラスピンを取り出す。

2 取り出したピンを使って、RESET ボタンをゆっくりと押す。

実行中の動作が停止して、本機が再起動します。
再起動後は、「palm powered」、「CLIÉ」、「SONY」と画面が表示され、続いて時刻と日付を設定するための「環境設定」画面が表示されます。

ご注意

- RESET ボタンを押したあと「環境設定」画面が表示されるまでしばらく時間がかかります。その間に RESET ボタンを押さないでください。
- スタイラスピン以外で、RESET ボタンを押さないでください。故障の原因になる場合があります。

ソフトリセットで再起動しないときは（ハードリセット）

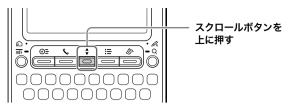
ソフトリセットで問題が解消されない場合は、ハードリセットを行って本機を再起動する必要があります。

ご注意

- **ハードリセットを行うとこれまでに記録したデータや、追加インストールしたアプリケーションはすべて消去されます。**
- ソフトリセットではどうしても再起動できない場合などを除いては、ハードリセットは絶対に実行しないでください。
  ただし、HotSync でパソコンにバックアップを取っていれば、次に HotSync したときにパソコン上に保存してあるデータは復元できます。
  ➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「クリエのデータをバックアップする」をご覧ください。

1 **POWER/HOLD スイッチを POWER 方向にスライドさせる。**

2 **POWER/HOLD スイッチを POWER 方向にスライドさせたまま、スタイラスピンで RESET ボタンをゆっくりと押して、離す。**

ご注意

POWER/HOLD スイッチは、POWER 方向にスライドさせたままにしてください。

3 **「palm powered」画面が表示されたら、3 秒ほど待って POWER/HOLD スイッチから指を離す。**

本機に記録したデータがすべて消去されることを示すメッセージが表示されます。

4 スクロールボタンを上に押す。

本機がハードリセットされます。
再起動後は、「palm powered」、「CLIÉ」、「SONY」と画面が表示され、続いて「初期設定」画面が表示されます。「電源を入れて初期設定を行う」（21 ページ）の手順に従って、初期設定してください。
ハードリセットを行ったあとも、現在の日付と時刻はそのまま残ります。書式の環境設定などの設定は、お買い上げ時の設定に戻ります。

ご注意

- ハードリセットを行うとき、RESET ボタンを押したあと「初期設定」画面が表示されるまでしばらく時間がかかります。その間に RESET ボタンを押さないでください。
- スクロールボタンを押す時間が短いと、ハードリセットが実行されない場合があります。

パソコンと一緒に使えるようにする

クリエとパソコンを連携して使うと、以下のようなことができます。

- 予定表やアドレスなど、最新のデータをクリエとパソコンで共有する
- クリエのデータのバックアップコピーをパソコンに保存する
- パソコンで管理している画像や音楽をクリエで持ち出す
- 付属アプリケーションの詳しい使いかたを、パソコンの「クリエ アプリケーションマニュアル」で見る

クリエをパソコンと連携して使う前に、次の準備を行います。

❶ ソフトウェアをパソコンにインストールする

❷ クレードルとパソコンをつなげる

❸ クリエのユーザー名を設定する

❶ ソフトウェアをパソコンにインストールする

インストールする前に付属のクレードルをパソコンにつながないでください。正しくインストールできない場合があります。

お使いのパソコンに、付属のインストール CD-ROM に入っている「CLIE Palm Desktop」というソフトウェアをインストールします。クリエとパソコンでデータをやり取りしたり、住所録などの情報をパソコンの画面で入力するためのソフトウェアです。

➡**パソコンに必要なシステム構成について詳しくは、**「パソコンに必要なシステム構成」(98ページ)をご覧ください。

ご注意

- パソコンで付属のインストール CD-ROM の内容を開いて、「Palm Desktop」フォルダをパソコンにコピーしないでください。必ずこの冊子の手順に従って、インストールしてください。

- Windows 2000 Professional または Windows XP をお使いの場合、コンピューターの管理者(Administrator)権限のユーザー(アカウント)でログオンしてからインストールを行ってください。
この際のユーザー(アカウント)名は、半角英数字をご使用ください。

- すでにクリエをお使いの場合、**すでにお使いの CLIE Palm Desktop ソフトウェアを削除(アンインストール)せずに**以下の手順で新しい CLIE Palm Desktop ソフトウェアを上書きしてください。
  * PEG-N700C/PEG-S300/PEG-S500C をお持ちの場合は、ネットコミュニケーションカスタマーリンクの機種ごとのサポート情報をご覧ください。
  ➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「他のクリエのデータを移す」をご覧ください。

1 パソコンで起動している、すべてのソフトウェアを終了する。

2 パソコンの CD-ROM ドライブに、付属のインストール CD-ROM をセットする。

しばらくすると、パソコンに「インストール CD-ROM」画面が表示されます。

3 [次へ]または[クリエ基本ソフトウェア]をクリックしたあと、CLIE Palm Desktop の[インストール]ボタンをクリックする。

CLIE Palm Desktop ソフトウェアのパソコンへのインストールが始まります。以後、画面の指示に従って操作してください。
インストールが完了すると、「セットアップの完了」画面と「クリエオンラインカスタマー登録」画面が表示されます。

4 [完了]をクリックする。

5 画面の指示に従って、カスタマー登録を行う。

カスタマー登録が終わったら、「クリエオンラインカスタマー登録」画面を閉じて、インストール画面に戻ります。

ご注意

オンラインカスタマー登録には、インターネットへの接続環境が必要です。

ヒント

あとでカスタマー登録をするときは

ブラウザを閉じてください。

次のページにつづく

6 画面の指示に従って、HotSyncの動作確認を行う。

ここでは、HotSync機能（41ページ）の動作確認を行います。表示されている画面をよく読んで動作確認をしてください。

7 HotSyncの動作確認が終了したら、画面左下の[終了]をクリックする。

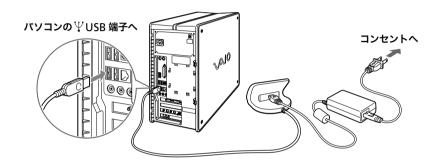
これでパソコンへのCLIE Palm Desktopソフトウェアのインストールが終わりました。

ヒント

カスタマー登録とは

ソニーへクリエの正規ユーザーとして登録することです。
登録をすると、最新のプログラムのダウンロードなど、登録カスタマー専用の各種サービスが受けられます。サービスの内容について詳しくは、クリエのホームページ（http://www.sony.jp/CLIE/）をご覧ください。
修理や使いかたのお問い合わせなど、ネットコミュニケーションカスタマーリンク（クリエ専用サポートセンター）をご利用になるには、必ずお客様の「お客様サポート番号（16桁）」、「カスタマーID（13桁）」のいずれかが必要になります。
また、クリエに付属の保証書期間はお買い上げ日から3か月ですが、カスタマー登録をすると保証期間が1年間となります。保証について詳しくは、「保証書とアフターサービス」（94ページ）をご覧ください。

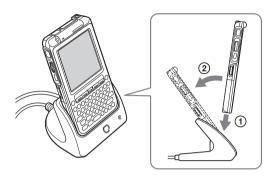
カスタマー登録は以下の方法でもできます

- 付属のカスタマー登録はがきを使う
- 「インターネットに接続する」（65ページ）の操作手順でインターネットに接続したあとに、あらためてクリエでオンラインカスタマー登録を行う
- デスクトップ画面左下の[スタート]をクリックしてから、[プログラム]（Windows XPの場合は[すべてのプログラム]）－[Sony CLIE]－[PEG-TG50について]－[クリエ カスタマー登録]の順にクリックする

手順5でインストールの操作ができなくなったら

パソコンの[Alt]キーを押しながら[tab]キーを、何度か押してみてください。
手順3でインストールの操作中にパソコン画面上の「インストールCD-ROM」画面などをクリックすると、「インストール」画面が「インストールCD-ROM」画面の背後に隠れてしまい、インストールの操作ができなくなることがあります。このときは上記の操作をすることで、「インストール」画面を再び前面に出すことができます。

❷ クレードルとパソコンをつなげる

CLIE Palm Desktop ソフトウェアのインストールが終了したら、パソコンの USB 端子にクレードルの USB コネクタを接続し、クリエをパソコンと連携して使えるようにします。

クレードルをパソコンに接続する

ご注意

クレードルは、必ずパソコン本体の USB 端子へ接続してください。USB ハブなどを利用した場合、正常に HotSync が行われない場合があります。

❸ クリエのユーザー名を設定する

1 クリエをクレードルに取り付ける。

2 クレードルの HotSync ボタンを押す。

HotSync ボタンを押す

必要なアプリケーションのインストールが自動的に始まります。

3 パソコンに「ユーザ」画面が表示されたら、パソコンの画面で新規ユーザー名を入力する。

ユーザー名とは、クリエの使用者名のことです。好みの名前を入力してください。

ご注意

すでに別のクリエをお使いの場合は

別のクリエで使用しているユーザー名とは違うものを入力してください。
同じユーザー名にすると、不具合が起こることがあります。

ヒント

他のクリエのデータを引き継ぐ場合は

別冊「クリエ読本」の「他のクリエのデータを移す」をご覧ください。

4 パソコンの画面で[OK]をクリックする。

クリエから「ピロリ♪」と音がして、クリエとパソコンがデータをやり取り(HotSync)します。
このとき、手順 3 で入力したユーザー名がクリエにも登録されます。
クリエの画面に「HotSync 機能が終了しました」と表示されると、設定完了です。

これで準備は完了です!

パソコンとファイル/データを同期する(HotSync)

(ホットシンク)

HotSync とは?

クリエとパソコンのファイル/データをやり取りし、双方のファイル/データを最新の状態にしたり、ファイル/データのバックアップを取る、アプリケーションのインストールをするといった操作を HotSync と呼びます。
➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「パソコンとクリエを同期させる」をご覧ください。

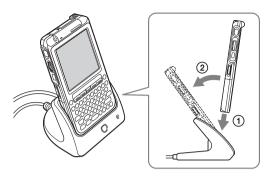
HotSync する

パソコンとクリエを連携させて、文字入力の練習で入力した予定表をパソコンで読んでみましょう。

1 パソコンを起動する。

2 「予定表を記入する(予定表)」(44 ページ)の手順を参考にして、「予定表」に新しいスケジュールを入力する。

次のページにつづく

3 クリエをクレードルに取り付ける。

4 クレードルの HotSync ボタンを押す。

クリエとパソコンで HotSync を行います。

HotSync が終了するとクリエに次の画面が表示されます。

5 パソコンのデスクトップ画面で、[CLIE Palm Desktop]アイコンをダブルクリックする。

またはデスクトップ画面左下の[スタート]をクリックしてから[プログラム](Windows XP の場合は[すべてのプログラム])－[Sony CLIE]－ [CLIE Palm Desktop]の順にクリックします。
CLIE Palm Desktop ソフトウェアが起動し、予定表が表示されます。手順 2 で入力した日を表示させると入力した予定が表示されます。

その他の情報画面(アドレス、ToDo、メモ帳)に切り換えるには

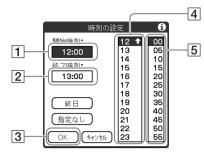
画面左にあるそれぞれのアイコンをクリックしてください。

予定表を記入する（予定表）

会議や出張など、さまざまな予定を日付けや時刻とともに記録して、効率よく管理できます。

- **使用するアプリケーション：**「予定表」
- **準備：**「予定表」はクリエにインストール済みです。

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」の「予定表」をご覧ください。

新しくスケジュールを入力する

1 ⊘≡ボタンを押す。

「予定表」が起動します。

2 [新規]をタップして、スケジュールの開始時刻と終了時刻を設定する。

1 タップして開始時刻を設定します。
2 タップして終了時刻を設定します。
3 設定が完了したらタップして決定します。
4 タップして「時」を選びます。
5 タップして「分」を選びます。

3 スケジュールを入力する。

ヒント

➡**文字の入力方法について詳しくは、**「文字を入力する」(30 ページ)をご覧ください。

スケジュールを削除する

1 「予定表」画面で、削除したいスケジュールをタップしたあと、ホーム／メニューボタンを長く押す。

メニューが表示されます。

2 [予定表]メニューの[予定の削除 ...]をタップする。

「予定の削除」画面が表示されます。

3 [OK]をタップする。

ヒント

「予定の削除」画面で[パソコンにバックアップ]の □ をタップして ☑ にしていると、次回 HotSync したときに、本機から削除したデータがパソコンに保存されます。保存されたデータを見るには、パソコンで CLIE Palm Desktop ソフトウェアを開き、「予定表」画面の「ファイル」メニューから[バックアップファイルを開く]を選びます。

住所や電話番号を管理する（アドレス）

名前、住所、電話番号などのアドレス情報を登録できます。
また画像を貼り付けたり、「名刺」に設定して他のクリエやPalm OS搭載機器に赤外線で送ることもできます。

- **使用するアプリケーション：**「アドレス」
- **準備：**「アドレス」はクリエにインストール済みです。

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」の「アドレス」をご覧ください。

新しくアドレスを入力する

1 **ボタンを押す。**

「アドレス」が起動します。

2 **[新規]をタップする。**

「アドレスの編集」画面が表示されます。

3 **それぞれの項目をタップして、情報を入力する。**

ヒント
画面右下の▲▼をタップすると入力画面がスクロールします。

アドレスを削除する

1 「アドレス」画面で削除したいアドレスをタップする。

「アドレス表示」画面が表示されます。

2 ホーム／メニュー ボタンを長く押す。

メニューが表示されます。

3 [アドレス]メニューの[アドレスの削除 ...]をタップする。

「アドレスの削除」画面が表示されます。

4 [OK]をタップする。

ヒント

「アドレスの削除」画面で[パソコンにバックアップ]の □ をタップして ☑ にしていると、次回 HotSync したときに、本機から削除したデータがパソコンに保存されます。

保存されたデータを見るには、パソコンで CLIE Palm Desktop ソフトウェアを開き、「アドレス」画面の「ファイル」メニューから[バックアップファイルを開く]を選びます。

使ってみよう

パソコンの予定表やアドレスと連携する

HotSync（41 ページ）を使って、クリエで入力した予定表やアドレスをパソコンに転送したり、パソコンで管理している予定表やアドレスをクリエに転送することができます。

パソコンで使うアプリケーションに応じて、次の 2 つの方法があります。

CLIE Palm Desktop ソフトウェアと連携する

パソコンの CLIE Palm Desktop ソフトウェアで管理している予定表やアドレスとクリエを連携します。

- **準備：**CLIE Palm Desktop ソフトウェアはパソコンにインストールが必要です。

➡**CLIE Palm Desktop ソフトウェアとの連携について詳しくは、**「パソコンとファイル／データを同期する（HotSync）」（41 ページ）をご覧ください。

Microsoft® Outlook と連携する（Intellisync Lite for Sony CLIE）

- **準備：**Intellisync Lite for Sony CLIE ソフトウェアはパソコンにインストールが必要です。

➡**インストールの方法について詳しくは、**「使いたいアプリケーションをインストールする」（70 ページ）をご覧ください。

ヒント

Intellisync Lite for Sony CLIE ソフトウェアはインストーラメニュー画面の「クリエを使いこなす」からインストールできます。

➡**操作や設定の方法について詳しくは、**Intellisync Lite for Sony CLIE ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
ヘルプを見るには、デスクトップ画面左下の[スタート]メニューから[プログラム]（Windows XP では[すべてのプログラム]）－[Intellisync Lite for Sony CLIE]－[Intellisync ヘルプ]の順にクリックします。

パソコンで作成したドキュメントをクリエで見る(Picsel Viewer for CLIE)

ピクセル ビューワー フォー クリエ

Microsoft Word や Excel、PowerPoint、PDF などパソコンで作成したドキュメントを、クリエで見ることができます。

- **使用するアプリケーション：**「Picsel Viewer for CLIE」、「Memory Stick Import」、「Memory Stick Export」（パソコン用）
- **必要な機材：**"メモリースティック"
- **使用できるデータ（形式）：** doc 形式、xls 形式、ppt 形式、txt 形式、JPEG 形式、GIF 形式、PNG 形式、BMP 形式、PDF 形式、HTML 形式、MHTML 形式
- **準備：**「Picsel Viewer for CLIE」、「Memory Stick Import」はクリエにインストール済みです。
  「Memory Stick Export」はパソコンにインストールが必要です。

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」の「Picsel Viewer for CLIE」をご覧ください。

ドキュメントをクリエに転送する

1 パソコンで、見たいドキュメントを準備する。

2 "メモリースティック"をクリエに入れる。

➡**"メモリースティック"について詳しくは、**「各部のなまえとはたらき："メモリースティック"を入れる／取り出す」（105 ページ）をご覧ください。

次のページにつづく

3 **見たいドキュメントを、クリエに入れた“メモリースティック”に転送する。**

「Memory Stick Export」、「Memory Stick Import」を使用して、クリエに挿入した“メモリースティック”にドキュメントを転送します。

Memory Stick Export

Memory Stick Import

ドキュメントを見る

1 **ホーム画面で Picsel Viewer アイコンを選んで、「Picsel Viewer for CLIE」を起動する。**

2 画面右下のカルーセルアイコンをタップする。

カルーセルメニュー画面が表示されます。

3 ファイル表示アイコンをタップして、“メモリースティック”内の見たいドキュメントをタップする。

ドキュメントが表示されます。

音声メモを録音する (Voice Recorder)

（ルビ：ボイス　レコーダー）

本機の内蔵マイクを使って音声を録音することができます。また音声メモをアラーム音として利用したり、メールに添付して送ることもできます。

- **使用するアプリケーション：**「Voice Recorder」、「CLIE Viewer」（再生時）
- **準備：**「Voice Recorder」、「CLIE Viewer」はクリエにインストール済みです。

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」の「Voice Recorder」をご覧ください。

音声メモを録音する

1 ホーム画面で Voice Rec アイコンを選んで、「Voice Recorder」を起動する。

2 REC ボタンを押す。

録音が開始されます。内蔵マイクに向かって話してください。

ヒント

- クリエの電源が入っていない状態でも、REC ボタン（102 ページ）を押すと「Voice Recorder」が起動し、ただちに録音が開始されます。

- 音声メモの録音には、会議（High）と口述（Low）の 2 種類があります。
  ➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」の「Voice Recorder」をご覧ください。

3 録音を停止するときは、もう一度 REC ボタンを押す。

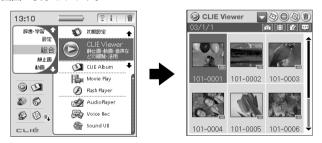
音声メモを再生する

「Voice Recorder」または、「CLIE Viewer」で再生できます。

➡**「Voice Recorder」について詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」の「Voice Recorder」をご覧ください。

➡**「CLIE Viewer」について詳しくは、**「手書きメモや音声メモ、画像ファイルを再生する」（54 ページ）をご覧ください。

手書きメモや音声メモ、画像ファイルを再生する

クリエにある静止画や動画を再生したり、音声メモや手書きメモを開くときは「CLIE Viewer」を使います。異なる種類のファイルを日付け順に表示するので、一覧からファイルを探して表示したり、再生したりすることができます。
また、静止画や動画をメールに添付したり、「PhotoStand」や「CLIE Album」、「Photo Editor」などのアプリケーションで活用するデータを選ぶことができます。

- **使用するアプリケーション：**「CLIE Viewer」
- **使用できるファイル：** 静止画、動画、手書きメモ、音声メモ
- **準備：**「CLIE Viewer」はクリエにインストール済みです。

➡**クリエで再生、活用できるファイル形式について詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」の「CLIE Viewer」をご覧ください。

ファイルを開く／再生する

1 ホーム画面で CLIE Viewer アイコンを選んで、「CLIE Viewer」を起動する。

ファイルの一覧表示画面が表示されます。

2 ジョグダイヤルを回して表示したいファイルを選び、ジョグダイヤルを押す。

選んだファイルが表示／再生されます。

ヒント

- アイコンをタップして、表示／再生することもできます。
- ファイルの一覧は、作成日時順に表示されています。

ファイルを活用する／削除する

クリエにある静止画や動画をメールに添付したり、静止画を「PhotoStand」（72 ページ）、「CLIE Album」（71 ページ）、「Photo Editor」（72 ページ）の各アプリケーションで活用する場合やファイルを削除する場合、「CLIE Viewer」の一覧表示画面から目的のファイルを選ぶことができます。

1 「CLIE Viewer」を起動する。

2 コマンドボタンをタップして機能を選択する。

：**メールに添付するファイルを選ぶ**
「CLIE Mail」をインストールすると表示されます。

：**「PhotoStand」に登録する静止画を選ぶ**
「PhotoStand」をインストールすると表示されます。

：**インターネット上の画像アルバムサイト「イメージステーション」にアップロードする**
「Image Upload Utility」、「CLIE Mail」と「NetFront v3.0 for CLIE」をインストールする必要があります。
➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」の「Image Upload Utility」をご覧ください。

：**削除するファイルを選ぶ**

：**その他のアプリケーション（「Photo Editor」、「CLIE Album」）はプルダウンメニューから機能を選びます。**
「Photo Editor」をインストールする必要があります。

3 ファイルの □ をタップして ☑ にする。

ヒント

すべてのファイルを選ぶ場合は、[全選択]をタップします。

4 [OK]をタップする。

手順 2 で選んだ機能を実行します。

他の機器で作成した静止画や動画をクリエで持ち歩く

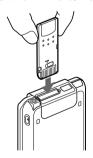
他の機器で作成した静止画や動画を、"メモリースティック"を使ってクリエで再生することができます。また、ファイル形式の異なる静止画や動画を、クリエで再生できるようにパソコンで変換することもできます。

デジタルスチルカメラやハンディカムで撮影した静止画や動画をクリエで見る

- **使用するアプリケーション：**「CLIE Viewer」
- **必要な機材：**"メモリースティック"
- **クリエで使用できるファイル形式：**
  - 静止画：JPEG（DCF）形式、PictureGear Pocket 形式
  - 動画：Movie Player 形式、MPEG Movie 形式

  お手持ちの"メモリースティック"対応機器で撮影可能な画像形式については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
- **準備：**「CLIE Viewer」はクリエにインストール済みです。

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」の「静止画を楽しむ」「動画を楽しむ」をご覧ください。

1 静止画や動画を保存した"メモリースティック"をクリエに入れる。

➡**"メモリースティック"について詳しくは、**「各部のなまえとはたらき："メモリースティック"を入れる／取り出す」（105 ページ）をご覧ください。

2 **「CLIE Viewer」を起動して、静止画や動画を見る。**

ヒント

静止画や動画を活用するには、「ファイルを活用する／削除する」(55 ページ)をご覧ください。

異なるファイル形式の静止画や動画をパソコンで変換する

- **使用するアプリケーション：**「Image Converter」(パソコン用)
- **必要な機材：**“メモリースティック”
- **クリエ用に変換できるファイル形式：**
  - －静止画：BMP 形式、JPEG(DCF)形式、TIFF 形式、GIF 形式、PNG 形式、PictureGear Pocket 形式
  - －動画：AVI 形式、MPEG Movie 形式、QuickTime 形式
- **準備：**「Image Converter」はパソコンにインストールが必要です。

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」の「Image Converter」をご覧ください。

1 **パソコンで「Image Converter」を起動して、静止画や動画をクリエ用のファイル形式に変換する。**

2 **変換した静止画や動画を“メモリースティック”に転送する。**

3 **“メモリースティック”をクリエに入れて、「CLIE Viewer」を起動して再生する。**

音楽を持ち歩く

パソコンにある音楽ファイルをクリエに入れた“メモリースティック”に転送して、音楽を聞くことができます。

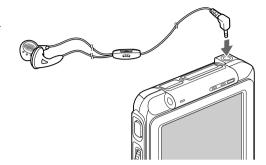
- **使用できるデータ（形式）：**ATRAC3、MP3
- **必要な機材：**ヘッドホン（∅3.5 mm ステレオミニジャック）
- **使用するアプリケーション：**
  - ATRAC3 形式の音楽ファイルを転送する：「SonicStage」（パソコン用）
  - MP3 形式の音楽ファイルを転送する：
    「Memory Stick Import」、「Memory Stick Export」（パソコン用）
  - クリエで音楽ファイルを再生する：「Audio Player」
- **準備：** 「Audio Player」、「Memory Stick Import」はクリエにインストール済みです。
  「SonicStage」、「Memory Stick Export」はパソコンにインストールが必要です。

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」の「音楽を楽しむ」をご覧ください。

音楽ファイルをクリエに転送する

聞きたい音楽ファイルを、「SonicStage」または「Memory Stick Export」でパソコンからクリエに転送します。

ヒント

CD の音楽をクリエで再生できるように、
パソコンで変換することもできます。

音楽ファイルをクリエで再生する

1 本機にヘッドホン(別売り)を接続する。

ヒント

本機の出力端子は、ステレオミニジャック対応です。

2 ホーム画面で AudioPlayer アイコンを選んで起動する。

3 再生(►)ボタンをタップして音楽を再生する。

音楽を停止するときは、停止(■)ボタンをタップします。

使ってみよう

Bluetooth™ 機能を使う

Bluetooth とは、ワイヤレス接続の新しい技術です。携帯電話やノートパソコン、その他モバイル機器間のワイヤレスコミュニケーションを可能にします。
本機内蔵の Bluetooth 機能を使うと、身近な範囲(約 10m[1])にある他の Bluetooth 機能対応機器とのワイヤレス通信により、画像の送信などを行うことができます。

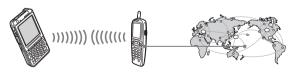
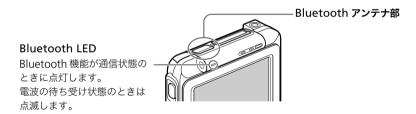
Bluetooth 機能を使って、以下のようなことができます。

他のクリエ[2]と画像や予定表などのデータのやりとりをする

他のクリエ[2]とゲームの対戦をする

パソコン[2]とワイヤレスで HotSync する

デジタルカメラ[2]をリモコン操作する

携帯電話[2]を通してインターネットに接続する

1) 通信機器間の障害物や電波状況、電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害の発生する場所、使用するソフトウェア、OS、通信する機器の受信感度、アンテナ性能などにより変化します。

2) 相手の機器も Bluetooth 機能を搭載している必要があります。

➡**Bluetooth 機能対応機器の情報について詳しくは、**ネットコミュニケーションカスタマーリンク(http://www.nccl.sony.co.jp/)をご覧ください。

- **準備：** Bluetooth 機能を使うためには、「環境設定」画面の［Bluetooth］で、［Bluetooth］を［オン］にしておく必要があります。

Bluetooth 機能をオン／オフする

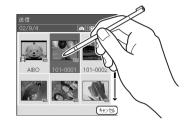
ホーム画面から「環境設定」を起動する

画面右上の▼をタップして、［Bluetooth］を選択する

▼をタップして、［オン］／［オフ］を切り換える

Bluetooth アンテナ部

Bluetooth LED
Bluetooth 機能が通信状態のときに点灯します。
電波の待ち受け状態のときは点滅します。

➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「クリエの設定を変更する（環境設定）：Bluetooth 機能を設定する」をご覧ください。

ご注意

- アンテナ部が金属面に接した状態では、通信性能が落ちます。
  金属製の机などでご使用の場合は、クレードルに取り付けてお使いください。
- Bluetooth 機能の使用中はアンテナ部を手でおおわないようにしてください。
  電波がさえぎられることがあります。

他のクリエと画像や予定表などのデータをやりとりする

1 送信したいファイル／データを選ぶ。

静止画／動画、音声メモや手書きメモを送信するときは

CLIE Viewer（54 ページ）を起動して、ホーム ／メニュー ボタンを長く押し、表示された[データ]メニューから[送信. . .]を選んだあと、送信したいファイルをタップしてください。

ヒント

静止画を送信する場合は

「経由して送信」画面が表示されたら、お好みの送信方法を選びます。
（お使いの環境によっては、この画面は表示されません）

送信方法の例
Bluetooth（BIP）： 送信先の機器に最適化した画像を送るための送信方法です。

予定表やアドレスのデータを送信するときは

送信したい予定やアドレスをタップしたあと、ホーム ／メニュー ボタンを長く押し、メニューから「予定の送信」（「予定表」の場合）、または「アドレスの送信」（「アドレス」の場合）を選んでください。

2 ファイル／データを送信する。

「Bluetooth デバイスの探索」画面が表示されたあと、身近な範囲にある通信可能なクリエが「探索結果」画面に表示されるので、送信先になるクリエをタップして選んでください。

双方のクリエに「Bluetooth の接続状況」画面が表示されるので、画面の指示に従ってください。

ヒント

本機から接続対象機器を 1 度探索したあと、接続対象機器の Bluetooth デバイス名を変更した場合は、次回のデバイス探索で古いデバイス名が表示されることがあります。この場合は、次の手順で操作してください。

① Bluetooth の設定画面（61 ページ）を開き、ホーム ／メニュー ボタンを長く押す。
② 表示された［オプション］メニューの［デバイス名キャッシュの無効化］をタップする。
③ 再度デバイス探索を行う。

ご注意

受信したファイル／データを閲覧／利用するためには、それぞれのファイル／データの形式に適したアプリケーションをあらかじめインストールしておく必要があります。

他のクリエとゲームの対戦をする

Bluetooth 機能内蔵または Bluetooth モジュール（別売）を装着したクリエとの間であれば、付属のゲーム用アプリケーション「Reversi」を双方にインストールして、ゲームの対戦をすることができます。

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」の「Reversi」をご覧ください。

パソコンとワイヤレスで HotSync する

Bluetooth 機能搭載のパソコンをお使いの場合、クレードルとパソコンを接続せずに、ワイヤレスで HotSync する事ができます。

➡**詳しくは、**別冊「クリエ 読本」の「パソコンとファイル／データを同期する（その他の HotSync）：Bluetooth™ で HotSync する」をご覧ください。
➡**対応機器の情報について詳しくは、**ネットコミュニケーションカスタマーリンクの機種ごとのサポート情報をごらんください。
http://www.nccl.sony.co.jp/

デジタルカメラをリモコン操作する

Bluetooth の BIP に対応しているデジタルスチルカメラ（Sony CyberShot DSC-FX77（2003 年 2 月現在））なら、「Remote Camera」を使って、デジタルカメラで撮影中の画面をクリエで見たり、リモコン操作でシャッターを切ることができます。

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」の「Remote Camera」をご覧ください。

携帯電話を通してインターネットに接続する

Bluetooth 機能対応の携帯電話を使って、クリエでホームページを見たり、電子メールを送受信したりすることができます。

- **必要な機材：**Bluetooth 機能対応の携帯電話
- **使用するアプリケーション：**
  －ホームページを見る：「NetFront v3.0 for CLIE」（78 ページ）
  －メールをやりとりする：「CLIE Mail」（77 ページ）
- **準備：** 「NetFront v3.0 for CLIE」、「CLIE Mail」はクリエにインストールが必要です。
  あらかじめインターネットサービスプロバイダとの契約が必要です。
  接続方法の設定や使用する携帯電話の登録、ネットワークの設定が必要です。

➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「Bluetooth 機能対応の携帯電話を使ってインターネットに接続する」をご覧ください。

インターネットに接続する

本機と市販の携帯電話／ PHS や通信カードをつないでインターネットに接続し、ホームページを見たりメールのやりとりをすることができます（別売りのクリエ用周辺機器が必要です）。
Bluetooth機能を使ってインターネットに接続する場合は、「Bluetooth™機能を使う：携帯電話を通してインターネットに接続する」（64 ページ）をご覧ください。

- **必要な機材：**市販の携帯電話／ PHS*1、または通信カード *2
  *1 別売りのモバイルコミュニケーションアダプターが必要です。
  *2 別売りの通信アダプターが必要です。
- **使用するアプリケーション：**
  ー ホームページを見る：「NetFront v3.0 for CLIE」
  ー メールをやりとりする：「CLIE Mail」
- **準備：** 「NetFront v3.0 for CLIE」、「CLIE Mail」はクリエにインストールが必要です。
  あらかじめインターネットサービスプロバイダ（以後、「プロバイダ」と記載します）との契約が必要です。

使ってみよう

クリエにアプリケーションをインストールする

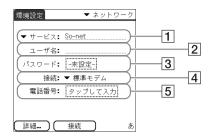
目的にあわせて、本機にアプリケーションをインストールしてください。

➡**アプリケーションごとに必要な設定について詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

プロバイダの設定を行う

1 「環境設定」を起動し、画面右上の▼をタップして、[ネットワーク]を選ぶ。

次のページにつづく

2 プロバイダの情報を入力する。

1 サービス

使用するサービス（プロバイダ名）を選びます。
リストの中に契約しているプロバイダ名が表示されないときは、[サービス]メニューから[新規]を選んで、好みのサービス名を入力することもできます。

2 ユーザ名

プロバイダから指定されたユーザー名を入力します。

3 パスワード

プロバイダと契約したときに登録したパスワードを入力します。

4 接続

お使いの機器に適した接続名を選びます。

ヒント

通信アダプターをお使いの場合は[通信アダプター]を、モバイルコミュニケーションアダプターをお使いの場合は[Sony モバイルアダプタ]を選んでください。

5 電話番号

プロバイダから指定された接続先電話番号を入力します。

ヒント

お使いの通信カード／携帯電話／ PHS によっては、「#32」などのオプション番号が必要な場合があります。
➡**詳しくは、**プロバイダおよび電話会社へお問い合わせください。

インターネットに接続する

1 **市販の携帯電話／ PHS*[1]、または通信カード *[2] と本機をつなげる。**

*1 別売りのモバイルコミュニケーションアダプターが必要です。

*2 別売りの通信アダプターが必要です。

2 **ホーム画面で、目的のアプリケーションを選んで起動する。**

3 **ホームページの閲覧やメールの送受信を開始する。**

自動的にインターネットに接続します。

➡**各アプリケーションの使いかたについて詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」の「インターネットやメールを楽しむ」をご覧ください。

ヒント

クリエにある静止画や動画をメールに添付する場合、「CLIE Viewer」の一覧表示画面から目的のファイルを選ぶことができます。

➡**詳しくは、**「ファイルを活用する／削除する」（55 ページ）をご覧ください。

アプリケーションを使いこなす

本機に付属のアプリケーションや「クリエ アプリケーションマニュアル」の使いかたを紹介します。付属アプリケーションに関する詳細のお知らせについては、それぞれのマニュアルをご覧ください。

付属アプリケーションの種類について

本機の付属アプリケーションには、以下の 3 種類があります。

- **本機にすでにインストールされていて、すぐにお使いになれるもの**
- **お客様が本機にインストールする必要のあるもの**
  インストールが必要なアプリケーションについては、70 ページの手順に従い、インストールしてください。
- **パソコンにインストールして使うもの**

アプリケーションの詳しい使いかたを知る

付属のアプリケーションの詳しい使いかたは、パソコンの「クリエ アプリケーションマニュアル」で見ることができます。

ご注意

- あらかじめ「ソフトウェアをパソコンにインストールする」（36 ページ）に従って CLIE Palm Desktop ソフトウェアをお使いのパソコンにインストールしておいてください。CLIE Palm Desktop ソフトウェアをインストールすると、「クリエ アプリケーションマニュアル」も同時にインストールされます。
- 「クリエ アプリケーションマニュアル」は「Microsoft Internet Explorer Version 5.0 」以降で動作確認をしています。正しく表示するためには、「Microsoft Internet Explorer Version 5.0 」以降を使ってご覧ください。

クリエ アプリケーションマニュアルを開く

1 パソコンのデスクトップ画面上にある（[クリエ マニュアル PEG-TG50]アイコン）をダブルクリックする。

「ご覧になりたいマニュアルをクリックしてください」画面が表示されます。

ヒント

デスクトップ画面左下の[スタート]をクリックしてから、[プログラム]（Windows XP の場合は[すべてのプログラム]）－[Sony CLIE]－[PEG-TG50 について]－[クリエ マニュアル]の順にクリックして、「ご覧になりたいマニュアルをクリックしてください」画面を表示することもできます。

2 画面上の[クリエ アプリケーションマニュアル]をクリックする。

「クリエ アプリケーションマニュアル」が表示されます。

ヒント

「ご覧になりたいマニュアルをクリックしてください」画面から、冊子で付属している「はじめにお読みください（取扱説明書）」、「クリエ読本」、「困ったときは Q&A」の PDF を開くこともできます。

ヒント

- 「クリエ アプリケーションマニュアル」を閉じるには、「クリエ アプリケーションマニュアル」画面右上にある ✕ をクリックします。
- 「クリエ アプリケーションマニュアル」画面右上にある ＿ （最小化）ボタンを使って、「クリエ アプリケーションマニュアル」をデスクトップ画面から隠す（最小化する）ことができます。最小化したウィンドウはタスクバーのボタンをクリックすると元のサイズに戻ります。
- 「クリエ アプリケーションマニュアル」をデスクトップ画面上に表示させたまま、他のソフトウェアなどを操作することもできます。

使いたいアプリケーションをインストールする

付属のインストール CD-ROM からインストールの必要なアプリケーションは、以下の手順でパソコンからクリエにインストールします。
あらかじめ、付属のインストール CD-ROM で CLIE Palm Desktop ソフトウェアをパソコンにインストールして、クレードルをパソコンに接続しておいてください。

ご注意

本機に付属のアプリケーションは、本機でのみご使用いただけます。他のクリエまたは Palm OS 搭載機器での動作は保証いたしません。

付属のインストール CD-ROM からインストールする

1 パソコンで起動しているすべてのソフトウェアを終了する。

2 パソコンの CD-ROM ドライブに、付属のインストール CD-ROM をセットする。

インストーラが起動し、インストール画面が表示されます。

3 画面左側からインストールしたいアプリケーションの種類([音楽を楽しむ]など)をクリックする。

4 インストールするアプリケーションの[インストール]ボタンをクリックする。

以降、画面の指示に従って操作してください。

5 クリエにインストールするアプリケーションの場合は、クレードルの HotSync ボタンを押す。

HotSync が始まり、選んだアプリケーションがクリエに転送されます。

6 パソコンの画面で[終了]をクリックする。

インストール画面が終了します。

ヒント

アプリケーションは CLIE Palm Desktop ソフトウェアの機能を使ってクリエにインストールすることもできます。

➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「アプリケーションを追加して機能を拡張する:インストールする:パソコンからインストールする」をご覧ください。

付属アプリケーションの紹介

ここでは、本機に付属のアプリケーションを「CLIE Launcher（クリエ ランチャー）」画面で表示されるグループ順に紹介しています。

➡**「CLIE Launcher」について詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「CLIE Launcher（クリエ ランチャー）を使いこなす」をご覧ください。

総合

一覧から探してファイルを見る／再生する

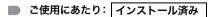
使用するアプリケーション

CLIE Viewer（クリエ ビューワー） クリエ用

概要

静止画、動画、手書きメモ、音声メモのファイルをまとめて管理、閲覧できるアプリケーションです。

ご使用にあたり： インストール済み

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

静止画

アルバムに整理する

使用するアプリケーション

CLIE Album（クリエ アルバム） クリエ用

概要

クリエ本体または"メモリースティック"に保存された静止画をアルバムにまとめて管理できるアプリケーションです。
PC 用のソフトウェア「PictureGear Studio」と連携してクリエのアルバムデータを PC で使うこともできます。

ご使用にあたり： インストール済み

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

静止画を自動表示する

- **使用するアプリケーション**

  フォトスタンド
  PhotoStand クリエ用

- **キーワード**：JPEG（DCF）形式

- **概要**

  静止画を次々に自動表示するためのアプリケーションです。

- **ご使用にあたり**： **インストールが必要です**

- **インストール CD-ROM のメニュー**：［静止画／動画を楽しむ］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

静止画を加工する

- **使用するアプリケーション**

  フォト　エディター
  Photo Editor クリエ用

- **キーワード**： JPEG（DCF）形式

- **概要**

  静止画の上に「お絵かき」をするためのアプリケーションです。
  無地のキャンバスを選んで絵を描くこともできます。

- **ご使用にあたり**： **インストールが必要です**

- **インストール CD-ROM のメニュー**：［静止画／動画を楽しむ］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

パソコンから静止画／動画を取り込む

- **使用するアプリケーション**

  イメージ　コンバーター
  Image Converter PC用

- **キーワード**：JPEG（DCF）形式、Movie Player 形式

- **概要**

  パソコンの画像をクリエで見ることができる形式に変換して、
  “メモリースティック”に保存します。

- **ご使用にあたり**： **インストールが必要です** **“メモリースティック”が必要です**

- **インストール CD-ROM のメニュー**：［静止画／動画を楽しむ］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

静止画を整理する

使用するアプリケーション

PictureGear Studio（ピクチャーギア スタジオ） PC用

概要

静止画をパソコンに取り込み活用するためのソフトウェアです。

- パソコンで静止画を使ったアルバムやバインダーを作成する
- パソコンに静止画を取り込み管理する
- ラベルの印刷をする
- CLIE Album で作成されたデータをパソコンとやり取りする
  ※「CLIE Album Plugin」をクリエにインストールする必要があります。

ご使用にあたり： インストールが必要です “メモリースティック”が必要です

インストール CD-ROM のメニュー：［静止画／動画を楽しむ］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

クリエで撮影した静止画を「イメージステーション」にアップロードする

使用するアプリケーション

Image Upload Utility（イメージ アップロード ユーティリティ） クリエ用

キーワード

JPEG（DCF）形式

概要

静止画をインターネット上の画像アルバムサイト、「イメージステーション」にアップロードするためのアプリケーションです。

※「CLIE Mail」と「NetFront v3.0 for CLIE」をクリエにインストールする必要があります。

ご使用にあたり： インストールが必要です 通信機器が必要です

インストール CD-ROM のメニュー：［インターネットを楽しむ］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

動画

動画を再生する

使用するアプリケーション

ムービー　プレイヤー
Movie Player クリエ用

www.aibo.com

キーワード

Movie Player 形式（内蔵カメラ付きのクリエで撮影したり、Image Converter で変換した動画形式）、MPEG Movie 形式（ソニー製デジタルスチルカメラやハンディカムで撮影した MPEG1 形式の動画）、プレイリスト、連続再生機能、インデックス機能

概要

内蔵カメラ付きのクリエを使って撮影した動画や、パソコンの Image Converter や Giga Pocket Plugin でクリエ用に変換した動画を再生するためのアプリケーションです。

ご使用にあたり： インストール済み　“メモリースティック”が必要です

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

Macromedia® Flash™ を再生する

使用するアプリケーション

マクロメディア　フラッシュ　プレイヤー
Macromedia Flash Player 5 クリエ用

キーワード：swf 形式

概要

Macromedia Flash コンテンツを再生するためのアプリケーションです。

※ パソコン用に作られた Flash コンテンツの中には完全に再生できないものもあります。

ご使用にあたり： インストール済み　“メモリースティック”が必要です

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

パソコンから動画を取り込む

- **使用するアプリケーション**

  ギガ　ポケット　プラグイン
  Giga Pocket Plugin PC用

- **キーワード：**Movie Player 形式

- **概要**

  パソコンで録画した動画をクリエで見ることができる形式に変換して、“メモリースティック”に保存します。
  ※ VAIO 用の Giga Pocket ソフトウェアがインストールされたパソコンが必要です。

- **ご使用にあたり：** インストールが必要です　“メモリースティック”が必要です

- **インストール CD-ROM のメニュー：**［静止画／動画を楽しむ］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「Giga Pocket Plugin」のヘルプをご覧ください。

音声・音楽

クリエで音楽を聞く

- **使用するアプリケーション**

  オーディオ　プレーヤー
  Audio Player クリエ用

- **キーワード：**MP3、ATRAC3

- **概要**

  “メモリースティック”に記録した音楽ファイルを再生するためのアプリケーションです。

- **ご使用にあたり：** インストール済み　パソコンとの連携が必要です　“メモリースティック”が必要です　ヘッドホン（別売）が必要です。

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

音声メモをとる

使用するアプリケーション

ボイス　レコーダー
Voice Recorder クリエ用

概要

本機の内蔵マイクを使って音声を録音したり、再生するためのアプリケーションです。

ご使用にあたり： インストール済み

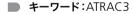
➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

好みの音を鳴らす

使用するアプリケーション

サウンド　ユーティリティー
Sound Utility クリエ用

概要

Sound Converter 2 で変換した音声データを、パソコンからHotSync でクリエに転送して、アラーム音として管理するためのアプリケーションです。

ご使用にあたり： インストール済み　パソコンとの連携が必要です

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

クリエに音楽ファイルを送る

使用するアプリケーション

ソニックステージ
SonicStage PC用

キーワード：ATRAC3

概要

クリエで聞く音楽ファイルをパソコンで管理／作成します。
“メモリースティック”に音楽ファイルを転送するときにも使用します。

ご使用にあたり： インストールが必要です

インストール CD-ROM のメニュー：［音楽を楽しむ］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」および「SonicStage」のヘルプをご覧ください。

クリエに音声データを送る

使用するアプリケーション
Sound Converter 2（サウンド コンバーター 2） PC用

キーワード： WAVE（PCM）形式、
MIDI（Standard MIDI File Format 0/1）形式

概要
パソコンにある WAVE 形式または MIDI 形式の音声データをクリエ用に変換するソフトウェアです。

ご使用にあたり： インストールが必要です

インストール CD-ROM のメニュー：［データを管理する］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

インターネット

メールをやり取りする

使用するアプリケーション
CLIE Mail（クリエ メール） クリエ用

概要
クリエ用の電子メールアプリケーションです。

ご使用にあたり： インストールが必要です
通信機器が必要です

インストール CD-ROM のメニュー：［インターネットを楽しむ］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

ホームページを見る

- **使用するアプリケーション**

  NetFront（ネットフロント） v3.0 for（フォー） CLIE（クリエ） クリエ用

- **キーワード：**ホームページ、インターネット、WWW ブラウザ

- **概要**

  クリエ用のホームページ閲覧アプリケーションです。

- **ご使用にあたり：** インストールが必要です　通信機器が必要です

- **インストール CD-ROM のメニュー：**［インターネットを楽しむ］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

電子手帳

住所や電話番号を管理する

- **使用するアプリケーション**

  アドレス クリエ用

- **概要**

  名前、住所、電話番号などのアドレス情報を管理できます。

- **ご使用にあたり：** インストール済み

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

日程や予定を管理する

- **使用するアプリケーション**

  予定表 クリエ用

- **概要**

  会議や出張など、さまざまな予定を効率よく管理できます。

- **ご使用にあたり：** インストール済み

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

処理する仕事や用事を管理する

使用するアプリケーション

To Do（トゥー ドゥー） クリエ用

概要

しなければならない仕事や忘れると困る用事を一覧で表示したり、買い物リストなどとして使うことのできるアプリケーションです。仕事や用事に優先度をつけて表示することもできます。

ご使用にあたり： インストール済み

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

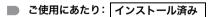
メモをとる

使用するアプリケーション

メモ帳 クリエ用

概要

簡単なメモをとったり、パソコンで作成した文書ファイルを本機で表示したりできます。

ご使用にあたり： インストール済み

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

手書きメモをとる

使用するアプリケーション

CLIE Memo（クリエ メモ） クリエ用

概要

クリエで手書きメモをとるためのアプリケーションです。

ご使用にあたり： インストール済み

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

計算機として使う

■ **使用するアプリケーション**

電卓 [クリエ用]

■ **概要**

基本的な計算ができます。数値を電卓メモリに保存したり、メモリから呼び出したりできます。

■ **ご使用にあたり：** [インストール済み]

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

便利ツール

パソコンで作成したドキュメントを閲覧する

■ **使用するアプリケーション**

ピクセル ビューワー フォー クリエ
Picsel Viewer for CLIE [クリエ用]

■ **キーワード：**doc 形式、xls 形式、ppt 形式、txt 形式、JPEG 形式、GIF 形式、PNG 形式、BMP 形式、PDF 形式、HTML 形式、MHTML 形式

■ **概要**

Microsoft Word、Excel、PowerPoint、PDF などパソコンで作成したドキュメントを、クリエで閲覧するアプリケーションです。

ヒント

Picsel Viewer for CLIE 英数字オプションフォントをインストールすると、ドキュメント内の半角英数字をボールド／イタリックで表示することができるようになります。

■ **ご使用にあたり：** [インストール済み]
[“メモリースティック”が必要です]

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

リモコンとして使う

使用するアプリケーション

CLIE Remote Commander（クリエ リモート コマンダー） クリエ用

キーワード：赤外線通信

概要

クリエをリモコンとして使うためのアプリケーションです。

ご使用にあたり： **インストールが必要です**

インストール CD-ROM のメニュー：［クリエを使いこなす］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

デジタルカメラをリモコン操作する

使用するアプリケーション

Remote Camera（リモート カメラ） クリエ用

概要

Bluetooth 搭載のデジタルカメラ（Sony DSC-FX77）を、本機でリモコン操作します。

ご使用にあたり： **インストールが必要です**

インストール CD-ROM のメニュー：［クリエを使いこなす］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

他のクリエと対戦ゲームを楽しむ

使用するアプリケーション

Reversi（リバーシ） クリエ用

概要

白黒のコマを交互に盤上に置き、相手のコマの色を自分の色に変えていくゲームです。
Bluetooth 機能対応のクリエ同士で、ワイヤレスで対戦することができます。

ご使用にあたり： **インストールが必要です**

インストール CD-ROM のメニュー：［エンターテイメント］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

世界時計を表示する

使用するアプリケーション

ワールド　アラーム　クロック
World Alarm Clock クリエ用

概要

世界の時刻を表示します。アラーム時計としても使うことができます。

ご使用にあたり： インストールが必要です

インストール CD-ROM のメニュー：［クリエを使いこなす］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

テレビの番組表を見る

使用するアプリケーション

ティービースケープ
TVscape クリエ用

概要

テレビ番組表をクリエで見るためのアプリケーションです。
番組情報サイト「テレビ王国」
（http://www.so-net.ne.jp/tv/）で提供される番組表や内容紹介をクリエで見ることができます。

ご使用にあたり： インストールが必要です　パソコンとの連携が必要です

インストール CD-ROM のメニュー：［クリエを使いこなす］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

地図を持ち出す

使用するアプリケーション

Navin’（ナビン） You（ユー） Pocket（ポケット） クリエ用

キーワード： 地図、ポイントデータ、GPS

概要

パソコンで切り出した「Navin' You 専用マップ」地図ディスクのデータをクリエで見るためのアプリケーションです。
地図データは付属の MapCutter Ver.2.1 を使ってパソコンで切り出し、“メモリースティック”経由でクリエに転送します。

ご注意

メモリースティック GPS モジュールをお使いの際には GPS モジュール付属の CD-ROM ではなく、本機に付属するインストール CD-ROM から Navin' You Pocket Ver.2.2 および MapCutter Ver.2.1 をインストールしてご使用ください。

ご使用にあたり： インストールが必要です　パソコンとの連携が必要です　“メモリースティック”が必要です（64MB 以上推奨）

インストール CD-ROM のメニュー：［クリエを使いこなす］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

クリエで電子書籍を閲覧する

使用するアプリケーション

PooK（プーク） クリエ用

キーワード：dotBook 形式、PooDOC 形式、Doc 形式、テキスト形式

概要

PooDOC 形式の他、一般的な Doc やテキスト形式にも対応している電子書籍閲覧用のアプリケーションです。

ご使用にあたり： インストールが必要です

インストール CD-ROM のメニュー：［クリエを使いこなす］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

パソコンで地図を切り出してクリエに送る

- **使用するアプリケーション**

MapCutter（マップカッター） PC用

- **キーワード：**地図、ポイントデータ

- **概要**

クリエのNavin' You Pocketで使用する地図データを"メモリースティック"に切り出します。

ご注意

本機に付属する地図データはサンプル版です。
お使いになる際は、ゼンリン社製「Navin' You 専用マップ」
（ゼンリン社 URL：http://www.zenrin.co.jp/）をお買い上げください。

- **ご使用にあたり：** インストールが必要です

"メモリースティック"が必要です（64MB以上推奨）

- **インストールCD-ROMのメニュー：**［クリエを使いこなす］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

データ管理

パソコンからクリエの"メモリースティック"を利用する

- **使用するアプリケーション**

Memory Stick Import（メモリー スティック インポート） クリエ用

Memory Stick Export（メモリー スティック エクスポート） PC用

- **概要**

クリエに入れた"メモリースティック"に、パソコンから
HotSyncを使わずにアプリケーションをインストールしたり、データをコピーすることができます。

- **ご使用にあたり：** "メモリースティック"が必要です

Memory Stick Import： インストール済み

Memory Stick Export： インストールが必要です

- **インストールCD-ROMのメニュー：**［データを管理する］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

“メモリースティック”にバックアップをとる

使用するアプリケーション

Memory Stick Backup（メモリー スティック バックアップ） クリエ用

概要

アプリケーションやデータをまとめて“メモリースティック”にバックアップできます。

ご使用にあたり： インストール済み “メモリースティック”が必要です

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

クリエと“メモリースティック”とでデータをやり取りする

使用するアプリケーション

CLIE Files（クリエ ファイルズ） クリエ用

概要

クリエに入れた“メモリースティック”とクリエ本体の間でのデータのやり取り（コピー、移動、削除）や、“メモリースティック”内でデータをやり取りするためのアプリケーションです。

ご使用にあたり： インストール済み “メモリースティック”が必要です

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

Microsoft® Outlook とデータをやり取りする

使用するアプリケーション

Intellisync Lite for Sony CLIE（インテリシンク ライト フォー ソニー クリエ） PC用

概要

Microsoft Outlook のデータを、クリエの「予定表」や「アドレス」、「To Do」などと連携するためのソフトウェアです。

ご使用にあたり： インストールが必要です パソコンとの連携が必要です

インストール CD-ROM のメニュー：［データを管理する］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」および Intellisync Lite for Sony CLIE のヘルプをご覧ください。

辞書・学習

辞書を引く

使用するアプリケーション

辞書 クリエ用

概要

辞書データを利用して、単語の意味や英単語などを調べることができます。

ご使用にあたり: インストール済み

辞書データは **インストールが必要です**

インストール CD-ROM のメニュー:［クリエ基本ソフトウェア］

➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

その他の情報

本機を使っていてわからなかったり、トラブルが発生したときの対処の方法を説明しています。

トラブルが起こる前に

バックアップのおすすめ

予期しないトラブルが起きたときのために、こまめにデータの複製を取っておくこと（バックアップ）をおすすめします。万一、クリエを初期状態に戻す必要のあるトラブルが起きたときでも、常にバックアップをしておくことで、クリエを最後にバックアップした状態へ復帰させることができます。

「Memory Stick Backup」によるバックアップ

付属の「Memory Stick Backup」を使って"メモリースティック"へバックアップすることができます。クリエと"メモリースティック"だけで簡単にバックアップできる便利な方法です。

➡ **"メモリースティック"（別売）が必要です。**

詳しくは、別冊「クリエ読本」の「クリエのデータやアプリケーションをバックアップする」をご覧ください。

HotSyncによるバックアップ

HotSyncを行うたびに、クリエ本体のデータやアプリケーションはパソコンにバックアップされます。
ハードリセットなどによってクリエ本体内のデータやアプリケーションが失われても、HotSyncすることでバックアップしたデータが復帰します。

ご注意

- あとからインストールされたアプリケーションや、インストール後にアプリケーションが生成したデータの一部は、バックアップできない場合があります。特に、赤外線通信および"メモリースティック"によってインストールしたアプリケーションやデータは、HotSyncではバックアップできません。「Memory Stick Backup」をお使いください。

トラブルを解決するには

本機を操作していて困ったときや、トラブルが発生したときは、あわてずに下記の流れに従ってください。
また、メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

手順 1 別冊「困ったときは Q&A」や各アプリケーションのマニュアルで調べる

- 別冊の「困ったときは Q&A」をよくお読みください。
- この冊子やパソコンのデスクトップにある[クリエ マニュアル PEG-TG50]アイコンをクリックしてアプリケーションの情報を確認してください。

手順 2 ホームページの「カスタマーサポート」で調べる

ネットワークコミュニケーションカスタマーリンクのホームページ(http://www.nccl.sony.co.jp/)では、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ情報のほか、最新プログラムのダウンロード提供や、周辺機器との接続情報などを掲載しています。パソコンのデスクトップにある[クリエ 困ったときには PEG-TG50]アイコンをクリックしてください。

手順 3 それでもトラブルが解決しないときは

次ページをご覧の上、それぞれのお問い合わせ先またはお買い上げ店にご相談ください。

ご注意

Palm OS 用に開発されたアプリケーションは、何千種類もあります。弊社ではそれら他社製のアプリケーションについて動作保証をしていないため、サポートは行っておりません。
他社製のアプリケーションで問題が生じた場合は、そのアプリケーションの開発元または発売元にお問い合わせください。

お問い合わせ先

PooK に関して：

最新情報
http://www.architump.com/
サポート情報（メールでお問い合わせください）
support@architump.com

Intellisync Lite for Sony CLIE に関して：

サポート情報
http://www.pumatech.co.jp/clie/

ATOK に関して：

ATOK ユーザーズページ
（Palm 機器で ATOK をお使いのユーザー様向けに、役立つ情報をご提供しています）
http://support.justsystem.co.jp/

クリエ本体と上記以外のアプリケーションに関して：
ネットコミュニケーションカスタマーリンク

電話番号　（0466）30-3080
受付時間
平日　10 時〜 18 時（年末年始は除く）
土、日、祝日は受け付けしておりません
* 一般的にお電話は午前中より午後の方がつながりやすくなっております。
  発信者番号通知でお電話していただくとよりスムーズに担当者につながります。

その他の情報

次のページにつづく

お電話の前に以下の内容をご用意ください

①「お客様サポート番号」(16 桁)もしくは「カスタマーID」(13 桁)
お買い上げ後、オンラインもしくは下記ソニーカスタマー専用デスクにてカスタマー登録してください。
●ソニーカスタマー専用デスク
電話番号 (0466)38-1410
② 本機の型名:本機背面または、保証書に記載されています
③ カスタマー登録していただいたときの電話番号、または登録予定の電話番号
④ 本機に接続している周辺機器名:メーカー名と型名
⑤ 表示されたエラーメッセージ
⑥ トラブルが発生する前または直前に行った操作
⑦ トラブルがどのくらいの頻度で再現するか
⑧ その他お気づきの点

修理の場合は
⑨ 筆記用具:修理を受付する際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です

ネットコミュニケーションカスタマーリンクをご利用になるには、必ずお客様の「お客様サポート番号」(16 桁)、「カスタマーID」(13 桁)のいずれかが必要になります。

お買い上げ後、カスタマー登録されることをおすすめいたします。
カスタマー登録は、オンラインによるご登録、もしくはソニーカスタマー専用デスクにお問い合わせください。

➡ 詳しくは、この冊子の裏表紙をご覧ください。

使用上のご注意

取り扱いについて

本機の取り扱いについては、以下の点にご注意ください。

- 本機の画面に傷をつけないようにしてください。画面をタップするときは、付属のスタイラスを使用してください。
  故障の原因となりますので、通常のペンや鉛筆、その他の突起物は絶対に使用しないでください。
- 本機を雨または湿気にさらさないでください。ボタンやスイッチの隙間から内部に水が入り込み、故障の原因になります。
- 本機を落としたり、強い衝撃を加えたりしないでください。また、本機をズボンのポケットに入れないでください。
  画面のガラスが割れることがあります。
- 本機を以下のような場所に放置しないでください。故障の原因となります。
  ー極端な高温または低温の場所
  　特に、炎天下で自動車のダッシュボードの上や、ヒーターなどの暖房機器の近くでの放置にはご注意ください。
  ー極端にほこりが多い場所
  ー湿度が高い場所やぬれた場所
- クレードル底部のゴム足は、汚れにより密着性能が低下することがあります。密着性能が低下した場合は、水拭きをすると回復します。

本機のお手入れ

本機のお手入れの際は、乾いた布を使用して軽く拭き取ってください。

スタイラスのお手入れ

汚れたスタイラスで画面をタップしたりドラッグしたりすると、表面を傷つける原因となります。
スタイラスが汚れたら、乾いた布を使用して軽く拭き取ってください。

バッテリ充電についてのご注意

バッテリの充電時間について

- バッテリが完全に空のときは、充電に約 5 時間かかります。
- 本機を毎日充電している場合は、1 回の充電にかかる時間を短くすることができます。
- 充電を行っている間も、本機に入力した情報を見たりすることができます。
- 本機のメモリはバッテリによって保持されています。充電をしないで放置し、バッテリの残量がなくなると、お買い上げ後に本機に記録したデータは消去されます。こまめな充電をおすすめします。

フル充電したときの使用時間のめやす

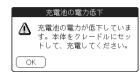
- 音楽再生機能を使用しない場合、約 11 日間使用できます（バックライトオフで 1 日 30 分間、「予定表」などの PIM アプリケーションを使用した場合）。
- HOLD 状態を解除して、バックライトを最大にした状態で音楽を連続再生した場合、約 3 時間使用できます。
- POWER/HOLDスイッチをHOLD状態にして音楽を連続再生した場合、約4.5時間使用できます。
- 使用時間はご利用環境、ご利用条件および利用するアプリケーションによって異なります。

  ➡**詳しくは、**96 ページからの「主な仕様」をご覧ください。

バッテリを節約するには

- 明るい場所では、バックライト機能を使用しないようにします。

  ➡**バックライト機能の入／切について詳しくは、**「POWER/HOLD スイッチについて」（103 ページ）をご覧ください。
- 一定の時間放置すると自動的に電源が切れる[自動オフまでの時間]の設定時間を短くします。

  ➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「クリエの設定を変更する（環境設定）：自動電源オフまでの時間を設定する」をご覧ください。
- 「Audio Player」で音楽を再生したり、別売りのモバイルコミュニケーションアダプターを使用すると、バッテリの減りが早くなります。
- 本機の電源が切れているとき、他の Bluetooth 対応機器からの探索に応答しなくてもよい場合は、Bluetooth のウェイクアップ機能を使用しないようにします。

  ➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「クリエの設定を変更する（環境設定）：Bluetooth™ 機能を設定する：Bluetooth の情報を確認／変更する」をご覧ください。

周辺機器ご使用時のご注意

周辺機器を使用中に「充電池の電力低下」の警告が表示された場合は、すみやかにご使用を中止してクリエ本体を充電してください。そのまま使用し続けると、クリエ本体内のデータが失われる場合があります。

バッテリ残量が少なくなると

- バッテリの残量が少なくなると、画面に下のような警告メッセージが表示され、"メモリースティック"の操作や液晶画面の輝度調整ができなくなります。

  HotSync を実行して本機内のデータをパソコンにバックアップしてください。同時に本機を充電することによって、誤ってデータが消去されることを防止できます。
- POWER/HOLD スイッチを POWER 方向にスライドしても電源が入らないときには、すぐに充電を開始してください。
- 充電量とバッテリ残量表示は必ずしも一致しません。余裕を持って充電するようにしてください。
- バッテリは交換する必要はありません。バッテリ残量が 0 になった場合は、すみやかにクレードル上で充電を開始してください。絶対に本機を分解してバッテリを取り出したりしないでください。

バッテリを廃棄するときは

本機で使用している電池は、リサイクルができるリチウムイオン充電池です。本体を廃棄する場合は、地方自治体の条例に定められた方法に従って処理していただくとともに、電池のリサイクル処理をお願いいたします。詳しくは 13 ページをご覧ください。

バッテリ残量が 0 のまま放置しないでください

バッテリ残量が 0 の状態（液晶画面のバッテリ残量表示が ▭ の状態）が続くと、本機内のデータが消去されます。本機はこまめに充電してお使いになることをおすすめします。

その他

長時間電源を入れたままにしておくと、本体があたたかくなりますが故障ではありません。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より 3 か月間です。カスタマー登録していただいたお客様は 1 年間になります。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この冊子をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはネットコミュニケーションカスタマーリンク(クリエ専用サポートセンター)へご連絡ください

ネットコミュニケーションカスタマーリンク(クリエ専用サポートセンター)については、添付の「クリエ サービス・サポートのご案内」をご覧ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、故障の原因が不当な分解や改造であると判明した場合は、保証期間内であっても、有償修理とさせていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではパーソナルエンターテインメントオーガナイザーの修理は引取修理を行っています。当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りにうかがい、修理完了後にお届けします。詳しくは添付の「クリエサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

データのバックアップのお願い

修理に出す前に、記録媒体のプログラムおよびデータは、HotSync などでお客様にてバックアップされますようお願いいたします。弊社の修理により、本体および“メモリースティック”内のプログラムおよびデータが万一消去あるいは変更された場合に関しても、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
なお、記録媒体そのものの故障の場合には、プログラムおよびデータの修復はできません。

部品の交換について

この製品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルエンターテインメントオーガナイザーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ネットコミュニケーションカスタマーリンク(クリエ専用サポートセンター)にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください

型名および製造番号は、本体背面または保証書に記載されています。

- **型名:**PEG-TG50
- **製造番号:**
- **故障の状態:できるだけ詳しく**
- **購入年月日:**
- **「お客様サポート番号」(16桁)**
  もしくは「カスタマーID」(13桁)

主な仕様

本体

OS
日本語版 Palm OS® 5 (Ver. 5.0)

CPU
PXA250 200MHz

メモリ
16M バイト(RAM)
ユーザー使用可能領域:約11M バイト

インターフェース
インターフェースコネクタ
赤外線(IrDA(1.2))
リモコン LED
“メモリースティック”スロット
Bluetooth

ディスプレイ
バックライト搭載半透過型 TFT カラー液晶ディスプレイ、320 × 320 ドット、65,536 色表示

その他の機能
FM 音源、16 和音
IMA ADPCM(monaural)
モノラルスピーカー
モノラルマイクロフォン

外形寸法(最大突起含まず)
約 71.6 × 126 × 12.5mm
(ハードカバーを取りはずした場合)
約 71.6 × 126 × 16.2mm
(ハードカバーを取り付けた場合)

質量
本体 約 158g
(付属スタイラス含む)
(ハードカバーを取り付けた場合:約 184g)

推奨動作温度
5℃ 〜 35℃

オーディオ再生周波数特性
20 Hz 〜 20,000 Hz

再生信号圧縮方式
ATRAC3 方式、
MP3 方式(32 〜 320 kbps)

再生サンプリング周波数
44.1 kHz

出力端子
ヘッドホン・ステレオミニジャック

音声録音/再生フォーマット
IMA ADPCM(1ch、4 bit)
SP モード(22.05kHz)
LP モード(8kHz)

画像サイズ(再生時)
本体のディスプレイ上で:
静止画:最大 320 × 320 ドット
動画:最大 320 × 240 ドット

フォーマット(再生時)
静止画:JPEG(DCF)形式
動画:Movie Player 形式、MPEG Movie 形式

電源

付属 AC アダプター:

DC5.2V(専用コネクタ)

(付属電源コードは AC100V 用)

バッテリ:

内蔵型リチウムイオンポリマー充電池

電池持続時間

PIM 動作時:

11 日

(バックライトオフで、1 日 30 分間、「予定表」など、PIM アプリケーションを使用した場合)

6 日

(バックライトオンで、1 日 30 分間、「予定表」など、PIM アプリケーションを使用した場合)

オーディオ連続再生時:

約 4.5 時間

(POWER/HOLD スイッチを HOLD 状態にして、音楽を再生した場合)

約 3 時間

(HOLD 状態を解除にして、バックライトを最大にした状態で音楽を再生した場合)

動画連続再生時:

約 3 時間

(バックライトオフで、動画を再生した場合)

約 2 時間

(バックライトオンで、動画を再生した場合)

音声連続記録時:

約 6.5 時間

(POWER/HOLD スイッチを HOLD 状態にして、音声を記録した場合)

約 2.5 時間

(HOLD 状態を解除して、音声を記録した場合)

* 使用温度、使用状態により電池持続時間は異なります。

最大録音時間

ATRAC3 方式:

128M バイトの"マジックゲートメモリースティック"使用時

約 120 分(ビットレート 132 kbps)

約 160 分(ビットレート 105 kbps)

約 240 分(ビットレート 66 kbps)

MP3 方式:

128M バイトの"メモリースティック"使用時

約 65 分(ビットレート 256 kbps)

約 130 分(ビットレート 128 kbps)

約 170 分(ビットレート 96 kbps)

最大音声録音時間

128M バイトの"メモリースティック"使用時

SP モード:約 190 分

LP モード:約 520 分

Bluetooth 機能の仕様

通信方式

Bluetooth 標準規格 Ver.1.1

出力

Bluetooth 標準規格
Power Class 2

通信距離 1)

見通し距離 約 10 m

対応 Bluetooth プロファイル 2)

Serial Port Profile
Dial-up Networking Profile
LAN Access Profile
Object Push Profile
Basic Imaging Profile

使用周波数帯

2.4 GHz 帯
（2.400 GHz - 2.4835 GHz）

1) 通信機器間の障害物や電波状況、電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害の発生する場所、使用するソフトウェア、OS、通信する機器の受信感度、アンテナ性能などにより変化します。

2) Bluetooth 機能対応機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth 標準規格で定められています。

パソコンに必要なシステム構成

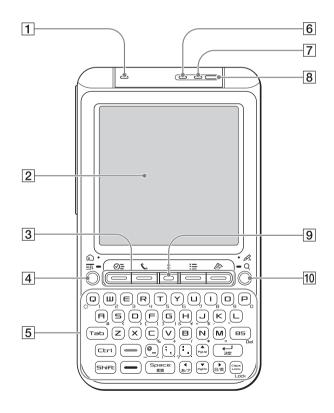
CLIE Palm Desktop ソフトウェアおよび、付属のインストール CD-ROM に収録されているソフトウェアを使うには、以下のシステムのパソコンが必要です。

- OS：Microsoft Windows 98 Second Edition、Windows Millennium Edition、Windows 2000 Professional、Windows XP Home Edition、Windows XP Professional
- CPU：Pentium Ⅱ 400MHz 以上（Pentium Ⅲ 500MHz 以上推奨）
- RAM：96MB 以上（128MB 以上推奨、ただし Windows XP の場合は 256MB 以上推奨）
- ハードディスクドライブ：200MB(350MB 以上推奨)*
  * SonicStage で CD データベースのインストールには 185MB 以上、音楽ファイルの保存にはファイル容量に相当する領域が必要です。PictureGear Studio での印刷時には 100MB 以上の領域が必要です。
- ディスプレイ：High Color 以上、800 × 600 ドット以上を推奨
- CD-ROM ドライブ
- USB ポート
- マウスかトラックパッドなどのポインティングデバイス

仕様および外観は、改良の為予告なく変更することがありますがご了承ください。

各部のなまえとはたらき

本体や主な付属品の各部のなまえとはたらきを説明しています。

前面

1. **Bluetooth（ブルートゥース） LED（エルイーディ）**
（61 ページ）

2. **画面**
（108 ページ）

3. **アプリケーションボタン**
（29 ページ）
電源を入れていなくても、アプリケーションボタンを押すと、それぞれのアプリケーションが起動します。

4. **ホーム／メニュー ボタン**
（26 ページ）
一度押すと、ホーム画面が表示されます。長く押すと、メニューが表示されます。

5. **ハードウェアキーボード**
（30、106 ページ）

6. **CHG（チャージ） LED（エルイーディ）**
（19 ページ）
電源を入れると点灯／点滅します。
点灯／点滅する色で、本機の状態を知らせます。

緑色で点灯：
電源が入っています。
（HOLD 状態でも点灯します）

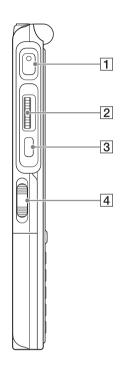
オレンジ色で点灯：
充電中です。

オレンジ色で点滅：
「予定表」などでアラーム機能を使っているときに、アラーム時刻になったことをお知らせします。

消灯：
電源が切れています。

7. **REC（レック） LED（エルイーディ）**
（53 ページ）
音声メモを録音中に点灯します。

8. **内蔵マイク**
（53 ページ）

9. **スクロールボタン**
画面上に一度に表示しきれない情報を見るときに押します。
下に押すと画面の下に隠れている情報が表示され、上に押すと画面の上に隠れている情報が表示されます。また、アプリケーションによって独自の機能が割り当てられています。

10. **文字入力／検索ボタン**
一度押すと、Graffiti 入力エリアが表示されます。
長く押すと、「検索」画面が表示されます。
➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「クリエで文字を入力する」または「計算機、辞書、検索機能を使う：データを検索する」をご覧ください。

側面

1 REC（レック）ボタン
（53 ページ）
音声メモの録音を開始／停止します。

2 ジョグダイヤル
（27 ページ）
アプリケーションや項目を選択／実行します。また、アプリケーションによっては独自の機能が割り当てられています。

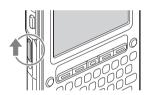
3 BACK（バック）ボタン
項目を選択解除したり、操作を取り消します。また、アプリケーションによっては、前の画面に戻るなどの独自の機能が割り当てられています。

4 POWER/HOLD スイッチ
（21、103 ページ）
電源の入／切を切り換えたり、本機をHOLD 状態にすることができます。

POWER/HOLD スイッチについて

電源を入／切するには

POWER/HOLD スイッチ

POWER/HOLD スイッチを POWER 方向にスライドさせる

（指を離すと、中央の位置に戻ります）

電源が入り、前回電源を切るときに表示されていた画面が表示されます。電源が入っているときは、CHG LED が緑色で点灯します。

電源を切るときも、POWER/HOLD スイッチを POWER 方向にスライドさせます。

液晶画面のバックライトを入／切するには

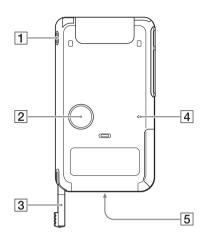
POWER/HOLD スイッチを POWER 方向に 2 秒以上スライドさせます。

HOLD 状態を入／切するには

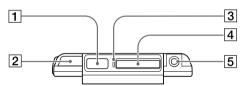
POWER/HOLD スイッチを HOLD 方向にスライドさせる

誤ってボタンが押されたり、画面がタップされることを防ぎます。HOLD 状態にすると、本機が動作中でも画面が消えます。

POWER/HOLD スイッチを中央の位置に戻すと、HOLD 状態が解除されます。

後面

1 **ハンドストラップホルダー**

2 **スピーカー**

3 **スタイラス**(21 ページ)
画面を直接さわって操作するためのペンです。

4 **RESET(リセット) ボタン**(33 ページ)
本機を再起動するときに押します。

5 **インターフェースコネクタ**
(19 ページ)
クレードルや別売りのモバイルコミュニケーションアダプターなどを接続します。

上面

1 **Bluetooth(ブルートゥース) アンテナ部**
(61 ページ)

2 **赤外線通信ポート**
赤外線で他のクリエや Palm OS 搭載機器とデータをやり取りできます。
➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「赤外線通信機能を使う」をご覧ください。

ヒント
「CLIE Remote Commander」により、クリエをリモコンとして使うこともできます。
➡**詳しくは、**パソコンで見る「クリエアプリケーションマニュアル」をご覧ください。

3 **“メモリースティック”ランプ**
“メモリースティック”に読み書きしているときに、オレンジ色に点滅します。

4 **“メモリースティック”スロット**
“メモリースティック”を入れます。

5 **ヘッドホンジャック**
(59 ページ)
市販の φ3.5 mm ステレオミニプラグ用のヘッドホンを取り付けてご使用できます。

“メモリースティック”を入れる／取り出す

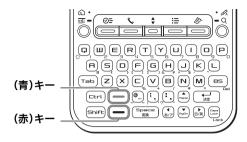
“メモリースティック”を入れる

“メモリースティック”ランプ
“メモリースティック”に読み書きしているときに、
オレンジ色に点滅します。

ご注意

“メモリースティック”の向きにご注意ください。無理に逆向きに入れようとすると、スロットが破損するおそれがあります。

“メモリースティック”を取り出す

“メモリースティック”を押し込む

“メモリースティック”を引き抜く

ご注意

“メモリースティック”へのデータの書き込みや読み出しを行っていないこと（“メモリースティック”ランプが点滅していないこと）を確認してから“メモリースティック”を押し込んでください。“メモリースティック”ランプが点滅中に“メモリースティック”を取り出した場合、記録されたデータが消えたり壊れたりすることがあります。

ハードウェアキーボード

パソコンのキーボードと同様の操作で文字を入力します。大量の文字を入力するときに便利です。

入力コマンド一覧

下記のキーを組み合わせることでハードウェアキーボードの機能を拡張できます。

キー操作の表記

例:Ctrl + C → Ctrl キーを押しながら C を押す。

基本操作

操作	機能
(青) + 青文字キー	青い表示の数字や記号を入力します。
(赤) + 赤文字キー	赤い表示の機能を実行します(「変換」などを含む)。
Caps Lock	英字入力モードのときに、大文字を連続して入力できます。もう一度押すと、解除できます。
(青)+ Caps Lock	Lock(青文字)状態に固定され、青い表示の数字や記号を連続して入力できます。もう一度押すと、解除できます。

編集

操作	機能
Ctrl + C	選択した文字列をコピーします。
Ctrl + D	選択した文字列を消去します。
Ctrl + V	選択した文字列を貼り付けます。
Ctrl + X	選択した文字列を切り取ります。
Ctrl + ◀／▶	カーソルの位置から文頭／文末まで選択します。
Shift + ◀／▶	カーソルの位置の前後の文字列を選択します。

機能

操作	機能
Ctrl + G	シルクスクリーンの表示／非表示（対応機種のみ *）
Ctrl + H	ホーム画面に戻ります。
Ctrl + L	バックライトを On/Off します。
Ctrl + M	メニューを表示します。
Ctrl + O	前のフィールドへ移動します。
Ctrl + P	次のフィールドへ移動します。
Ctrl + R	Graffiti のヘルプ画面が表示されます。 他の機能に変更することもできます。 （[環境設定]画面右上の▼をタップして[ボタン]を選び、[スタイラス]をタップする）

* 本機では対応しておりません。

ダイアログ表示

操作	機能
Ctrl + A	「ボリューム調整」画面が表示されます。
Ctrl + B	「バッテリ情報」画面が表示されます。
Ctrl + E	「メディア情報」画面が表示されます。
Ctrl + F	「検索」画面が表示されます。
Ctrl + K	キーボードのヘルプ画面が表示されます。
Ctrl + T	コマンドツールバーが表示されます。
（━）（赤）＋ Q	「明るさの調整」画面が表示されます。

ボタン操作

操作	機能
Ctrl + ▲／▼	ジョグダイヤルを上／下方向に回すのと同じ操作です。
Ctrl + 決定	ジョグダイヤルを押すのと同じ操作です。
Ctrl + 決定（長押し）	ジョグダイヤルを長押しするのと同じ操作です。
Ctrl + BS	BACK ボタンを押すのと同じ操作です。
Ctrl + BS（長押し）	BACK ボタンを長押しするのと同じ操作です。

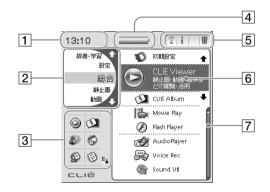
次のページにつづく

応用操作

操作	機能
(Caps Lock 状態にしたあと) Shift + 文字キー	Shift キーを押しながら文字を入力すると、一時的に Caps Lock 状態が解除されます。
(Lock(青文字)状態にしたあと) (青) + 文字キー	(青)キーを押しながら文字を入力すると、一時的に Lock 状態が解除され、通常の文字が入力できます。
(Lock(青文字)状態にしたあと) Shift + 文字キー	Shift キーを押しながら文字を入力すると、一時的に Lock 状態が解除され、Shift 入力ができます。

画面の見かた

ヒント

違う画面が表示されているときはホーム／メニュー ボタンを押してください。

1 **時刻表示**

時刻が表示されます。

表示の書式は、「環境設定」－「書式」の「時刻」で変更します。

➡**詳しくは、**別冊の「クリエ読本」の「クリエの設定を変更する（環境設定）：日時／数値などの表示書式を変更する」をご覧ください。

2 **CLIE（クリエ） Launcher（ランチャー） グループ一覧**

CLIE Launcher グループの一覧が表示されます。

3 **よく使うアプリケーション**

（ショートカット）

よく使うアプリケーションを登録できます。

[4] バッテリ残量表示

本機の現在のバッテリ残量を表示します。タップして、本体（または“メモリースティック”）のメモリの残量とバッテリの残量（%）を表示することもできます。

充電中は と表示されます。

また、ハードウェアキーボードの Ctrl キーを押しながら B キーを押すと、「バッテリ情報」画面が表示されます。

駆動電源：使用している電源
状態：バッテリの状態
残量：バッテリのおよその残量
（充電中は --- と表示されます）

[機能制限]ボタンをタップすると、「バッテリ残量による機能制限」画面が表示されます。

[5] 編集操作アイコン

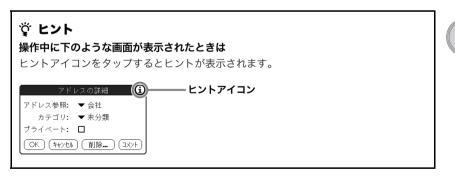
アプリケーションに対する操作機能が登録されています。

標準では次の機能が登録されています。

：アプリケーションの送信

：情報の表示

：アプリケーションの削除

➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「クリエの基本操作：「CLIE Launcher（クリエランチャー）」を使いこなす：編集操作アイコン」をご覧ください。

ヒント

アプリケーションをインストールすると、機能が追加されることがあります。

[6] アプリケーションアイコン

（27 ページ）

タップするとアプリケーションを起動します。

[7] ポジションインジケーター

ヒント

操作中に下のような画面が表示されたときは

ヒントアイコンをタップするとヒントが表示されます。

ハードカバー

本機のハードカバーは以下の方法で取りはずすことができます。

ご注意

別売りの“メモリースティック”GPS モジュールを使用する場合は、ハードカバーを取りはずしてください。

ハードカバーの取りはずしかた

1 左手で ① の部分を押す。

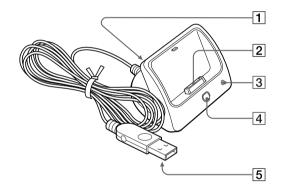
2 反対側を外側に引っ張りながら、② の方向にずらして取りはずす。

ハードカバーの取り付けかた

1 カバー左側の突起部をクリエの孔の形にあわせてはめ込む。

2 反対側の突起部を押し込みながら、② の方向にカバーをはめ込む。

ご注意

突起部を押さずに、無理にカバーをはめ込まないでください。突起部が破損することがあります。

ご注意

- ハードカバーを開ききった状態からさらに開かないでください。故障の原因になります。
- ハードカバーのみを持って、クリエを持ち運ばないでください。故障の原因になります。

クレードル

1 **ACアダプター接続コネクタ**
（19 ページ）

2 **インターフェースコネクタ**
（19 ページ）

3 **クレードルランプ**
（19 ページ）

4 **HotSync（ホットシンク）ボタン**
（40、42 ページ）

5 **USB コネクタ**
（39 ページ）

索引

五十音順

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

アルファベット順

A

C

G

H

I

M

次のページにつづく

（つづき）

この説明書は、本文に無塩素漂白紙の 100％古紙再生紙と VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

最新サポート情報は

クリエ本体とクリエ用周辺機器、および付属のソフトウェアに関する最新情報は、
ネットコミュニケーションカスタマーリンクの機種ごとのサポート情報をご覧ください。
また、クリエ用周辺機器をお使いになる場合は、下記サイトのダウンロードページから
最新のソフトウェアを入手してください。

ネットコミュニケーションカスタマーリンク

● http://www.nccl.sony.co.jp/ ➡ 機種ごとのサポート情報へ

付属の冊子もあわせてご覧ください。
「クリエ サービス・サポートのご案内」
「困ったときは Q&A」

クリエのさらに楽しい使いかたは

下記のホームページをご覧ください。

● http://www.sony.jp/CLIE/

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

使いかたのご相談、技術的なお問い合わせは

ネットコミュニケーションカスタマーリンクへ

● 0466-30-3080

カスタマー登録、一般的なお問い合わせは

ソニーカスタマー専用デスクへ

● 0466-38-1410

お電話の前に、必ず付属の「クリエ サービス・サポートのご案内」をご覧ください。

http://www.sony.co.jp/